

II. 地域医療支援と入学試験

II-[1] 地域特別枠について

II-[1]-1. 奨学金連動の有無に関わらず、地域特別枠を設けていますか。

	全国	国立	公立	私立
回答校	80	43	8	29
1 はい	63 78.8%	34 79.1%	8 100.0%	21 72.4%
2 いいえ	17 21.3%	9 20.9%	0 0.0%	8 27.6%

II-[1]-1 (1) 医学科の全募集定員に対する地域特別枠募集定員の割合

地域特別枠募集定員数 (人)

※割合は、地域特別枠の設置校を分母とする

	全国	国立	公立	私立
回答校	63 100.0%	34 100.0%	8 100.0%	21 100.0%
平均 (人)	20.5	22.1	34.6	12.5
最大	90	67	90	30
最小	2	4	7	2

地域特別枠定員数/入学定員数 (%)

	全国	国立	公立	私立
回答校	62 98.4%	33 97.1%	8 100.0%	21 100.0%
平均 (%)	17.9	19.2	31.8	10.6
最大	81.8	50.7	81.8	25.0
最小	1.8	4.0	6.5	1.8

II-[1]-1 (2) 出身地域を

	全国	国立	公立	私立
1. 指定している (人) 回答校	48 76.2%	30 88.2%	6 75.0%	12 57.1%
平均 (人)	17.1	19.2	20.7	10.1
最大	55	55	40	20
最小	2	2	7	2
2. 指定していない (人) 回答校	40 63.5%	19 55.9%	6 75.0%	15 71.4%
平均 (人)	11.8	9.2	25.5	9.5
最大	55	20	55	20
最小	2	2	13	2

II-[1]-1 (3) 卒後の地域医療従事を

	全国	国立	公立	私立
1. 義務付けている (人) 回答校	61 96.8%	33 97.1%	8 100.0%	20 95.2%
平均 (人)	18.8	20.7	28.9	11.6
最大	90	67	90	30
最小	2	4	7	2
2. 義務付けていない (人) 回答校	12 19.0%	6 17.6%	2 25.0%	4 19.0%
平均 (人)	12.2	11.3	23.0	8.0
最大	25	20	25	12
最小	5	5	21	5

II-【1】-1 (4) 地域特別枠での入学者に対する奨学金制度が

		全国	国立	公立	私立
1. ある (人)	回答校	59 93.7%	32 94.1%	8 100.0%	19 90.5%
	平均 (人)	13.9	17.0	12.6	9.4
	最大	39	36	39	20
	最小	2	4	5	2
2. ない (人)	回答校	25 39.7%	12 35.3%	6 75.0%	7 33.3%
	平均 (人)	16.9	14.1	29.3	11.0
	最大	75	55	75	20
	最小	3	3	10	5

II-【1】-1 (5) 出身地域を指定していない場合

		全国	国立	公立	私立
1. 奨学金制度がある (人)	回答校	34 54.0%	17 50.0%	4 50.0%	13 61.9%
	平均 (人)	9.0	8.8	10.8	8.6
	最大	20	18	20	20
	最小	2	2	5	2
2. 奨学金制度がない (人)	回答校	10 15.9%	1 2.9%	5 62.5%	4 19.0%
	平均 (人)	19.0	5.0	27.0	12.5
	最大	55	5	55	20
	最小	5	5	10	5

大学名	(1) 地域特別枠 定員数	割合 (%)	(2) 出身地域指定		(3) 卒業義務		(4) 奨学金制度		(5) 出身地域指定なしの奨学金制度	
			有り	無し	有り	無し	有り	無し	有り	無し
【国立】										
旭川医科大学	55	45.1	55	0	55	0	0	55	0	0
弘前大学	67	50.7	47	20	67		30			
秋田大学	24	19.4	19	5	24		24		5	
山形大学	8	6.4	8		8		8			
筑波大学	36	26.7	26	10	36	0	36	0	10	
群馬大学	18	14.6	18	18	18		18		18	
東京医科歯科大学	4	4.0	2	2	4	0	4	0	2	0
山梨大学	35	28.0	35	0	35	0	35	0		
新潟大学	17	13.4	17	0	12	5	12	5		
信州大学	20	16.7	20			20	10	10		
富山大学	25	23.8	15	10	10	15	10	15	10	0
金沢大学	12	10.7	0	12	12	0	12	0	12	0
福井大学	15	13.6	5	10	10	5	10	5	10	0
岐阜大学	28	25.5	28	0	28	0	28	0		
浜松医科大学	0~5		0~5	0	0~5	0	0	0~5		
名古屋大学	5	4.7	0	5	5	0	5	0	5	0
三重大学	35	28.0	30	5	35	0	35	0	5	0
神戸大学	10	8.9	10	0	10	0	10	0		
鳥取大学	32	30.5	17	15	32	0	32	0	15	0
島根大学	25	22.3	13	12	25	0	22	3	12	0
岡山大学	12	10.0	0	12	12	0	12	0	12	0
広島大学	20	16.7	20	0	20	0	20	0	0	0
山口大学	33	28.2	19	14	15	18	15	18	14	0
徳島大学	17	15.0	17	0	12	5	12	5		
香川大学	14	12.8	9	5	14	0	14	0	5	0
愛媛大学	20	17.4	20	0	20	0	20	0	0	0
高知大学	25	22.7	15	10	25		25		10	
佐賀大学	26	24.5	24	2	26	0	8	18	2	0
長崎大学	32	26.0	27	5	32	0	12	20	0	5
熊本大学	5	4.3	5		5		5			
大分大学	13	13.0	13		13		13			
宮崎大学	20	18.1	20		20		10	10		

大学名	(1) 地域特別枠 定員数	割合 (%)	(2) 出身地域指定		(3) 卒業義務		(4) 奨学金制度		(5) 出身地域指定なしの奨学金制度	
			有り	無し	有り	無し	有り	無し	有り	無し
鹿児島大学	20	17.1	17	3	20	0	20	0	3	0
琉球大学	17	15.1	17		17		17			
【公立】										
札幌医科大学	90	81.8	35	55	90	0	15	75	0	55
福島県立医科大学	60	46.2	40	20	39	21	39	21	20	0
横浜市立大学	30	33.3		30	30		5	25	5	25
名古屋市立大学	7	7.2	7	0	7	0	7	0		
京都府立医科大学	7	6.5	7		7		7			
大阪市立大学	15	15.6	0	15	15	0	5	10	5	10
奈良県立医科大学	38	33.6	25	13	13	25	13	25	13	25
和歌山県立医科大学	30	30.0	10	20	30	0	10	20	0	20
【私立】										
岩手医科大学	15	12.2	15		15		15			
獨協医科大学	20	16.7	10	10	10	10	10	10	0	10
東邦大学	5	4.3		5	5		5		5	
東京医科大学	10	8.3	10	0	10	0	10	0		
東京慈恵会医科大学	10	9.1	10	0	5	5	5	5		
昭和大学	12	10.0	12			12		12		
順天堂大学	19	14.6	10	9	19	0	19	0	9	0
杏林大学	12	10.3	12		12		12			
北里大学	10	8.4	2	8	10	0	10	0	8	0
聖マリアンナ医科大学	5	4.3	0	5	5	0	5	0	5	0
東海大学	8	6.8	0	8	8	0	8	0	8	0
金沢医科大学	10	9.1	5	5	10		2			5
藤田保健衛生大学	10	8.3	0	10	10	0	10	0	10	0
愛知医科大学	10	8.7	0	10	10	0	10	0	10	0
大阪医科大学	2	1.8		2	2		2		2	
関西医科大学	15	12.8		15	15		15		15	
近畿大学	20	17.4	0	20	20	0	20		20	
兵庫医科大学	10	8.9	5	5	5	5	5	5	5	0
川崎医科大学	30	25.0	20	10	30	0	10	20	10	20
福岡大学	10	9.1	10	0	10	0	0	10	0	0
久留米大学	20	17.3		20	20		5	15	5	15

II-[1]-1 (6) 「入学者地域枠」制度に対する、貴大学の今後の方針は

大学名	今後の方針
【国立】	
旭川医科大学	今後も継続する。
弘前大学	今後も継続したいと考えている
秋田大学	今のところ現状維持。
山形大学	導入後2年目であるので、入学者の成績等を追跡し、検討する。
群馬大学	現時点では平成31年度入学者までで終了となる
山梨大学	国及び山梨県の地域枠に係る方針に基づき実施する。
新潟大学	今後の卒業生の状況をみて、結果が明らかになるまで現在の態勢を継続する。
信州大学	当面は現状を維持
富山大学	現在のところ変更の予定はない。
金沢大学	県からの修学資金制度が終了するとともに、募集制度を廃止。
福井大学	検討予定
岐阜大学	平成29年度まで定員28名でその後遞減する予定であったが、厚労省の政策で当面の定員維持の可能性があり、県と協議のうえできるだけ維持したい。
名古屋大学	増員の予定なし
三重大学	現在、卒業生が少数のため、今後の動向を見て検討する
神戸大学	募集人員については現状を維持していく予定。出身地域の指定に関しては、これまで兵庫県内所在の高校及び中等教育学校を卒業した者に限定されていたが、平成29年度より県外の学校に通学していても本人または保護者のいずれかが出願時点で3年以上継続して兵庫県に在住していれば出願できるように改定された。
鳥取大学	各地域毎の入学者数の動向により、制度の見直しを行う。
島根大学	現状を維持・継続し、入学前、在学中、卒業の一貫した教育、支援体制を確立する。
広島大学	平成31年度入試まで継続となる予定、その後は県との協議予定

大学名	今後の方針
山口大学	現状維持
徳島大学	他県出身者への適用などより柔軟な運用を要望していく
愛媛大学	医師の地域偏在の問題を解消させるためには必要であり、可能な限り現募集定員を維持したいと考えている。
高知大学	卒業後定着率の推移を見守りつつ、将来的に地域枠募集人員の拡大も考えられる。
佐賀大学	継続する。
長崎大学	平成29年度入試より、長崎県医学修学資金に係る入学定員を2名増員する。
熊本大学	地域医療を支える医療人の育成に積極的に取り組むこと。
大分大学	今後とも大分県と連携して地域枠制度を続ける予定である
宮崎大学	検討中
鹿児島大学	当面は継続する。
琉球大学	増員を検討したい。

【公立】

札幌医科大学	現行制度を継続する
福島県立医科大学	卒後の地域医療従事を義務づけていない地域枠についても、臨床研修に関する条件をつけ医師確保を図る。
横浜市立大学	地域枠学生へのキャリア支援を強化していく。
名古屋市立大学	現在のところ、変更の予定はない
京都府立医科大学	継続
大阪市立大学	現状、入学者地域枠の導入は考えていない。
和歌山県立医科大学	制度を継続する

【私立】

岩手医科大学	岩手県の「岩手県医師修学資金制度」の方針に準じて検討する。
東邦大学	現状維持
東京医科大学	継続する。
東京慈恵会医科大学	奨学金制度がある東京都枠は東京都の方針に従う。奨学金制度がない地域枠は国の方針に従う。
昭和大学	従来通り制度の変更予定はない。
順天堂大学	国や自治体より地域枠の要請があれば、その都度検討したい。
杏林大学	今後も継続し実施する
北里大学	現在、卒業生を輩出しておりませんので、回答を致しかねます。
聖マリアンナ医科大学	10年間の時限付であるが、さらに延長について自治体に要望していきたい。
金沢医科大学	現状維持
藤田保健衛生大学	愛知県の医師配置等を勘案しながら検討していく。
愛知医科大学	入学定員（10名）は維持しつつ、選抜方法は年度ごとに見直していく予定
大阪医科大学	開始後2年が経過したところであり、今後も継続していく
関西医科大学	要請があれば受け入れ可能な範囲で増員する
近畿大学	続けることができるシステムが続くのであれば続ける
兵庫医科大学	現状維持
川崎医科大学	平成29年度入学生定員を一般入試（静岡県地域枠）で5名、一般入試（長崎県地域枠）で1名増加する（認可済）
久留米大学	地域医療に貢献できる人材を育成する目標のもと、当面の間は制度を継続する

【奨学金と連動した地域特別枠】

II-【1】-2. 奨学金と連動した地域特別枠を設けていますか

	全国	国立	公立	私立
回答校	63	34	8	21
1 はい	59 93.7%	32 94.1%	8 100.0%	19 90.5%
2 いいえ	4 6.3%	2 5.9%	0 0.0%	2 9.5%

II-【1】-2 (1) いつから実施していますか

	全国	国立	公立	私立
回答校	59	32	8	19
2000年以前	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%
2001年	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
2002年	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
2003年	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
2004年	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
2005年	1 1.7%	1 3.1%	0 0.0%	0 0.0%
2006年	5 8.5%	5 15.6%	0 0.0%	0 0.0%
2007年	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%
2008年	9 15.3%	4 12.5%	5 62.5%	0 0.0%
2009年	21 35.6%	16 50.0%	2 25.0%	3 15.8%
2010年	12 20.3%	4 12.5%	1 12.5%	7 36.8%
2011年	2 3.4%	1 3.1%	0 0.0%	1 5.3%
2012年	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%
2013年	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%
2014年	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%
2015年	4 6.8%	1 3.1%	0 0.0%	3 15.8%
2016年	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

大学名	実施年	補足事項
【国立】		
弘前大学	2006	
秋田大学	2006	2006～2009年 推薦入試Ⅰ（秋田県地域枠）、2008年～ 推薦入試Ⅱ（秋田県地域枠、全国地域枠）
山形大学	2015	
筑波大学	2009	
群馬大学	2009	推薦入試で実施
東京医科歯科大学	2011	平成23年度入学者選抜試験から実施
山梨大学	2008	募集人員30名以内
新潟大学	2009	
信州大学	2005	
富山大学	2009	自己推薦入試「特別枠」
金沢大学	2009	
福井大学	2008	
岐阜大学	2008	
名古屋大学	2009	
三重大学	2010	三重県医師修学資金との連動
神戸大学	2010	
鳥取大学	2006	平成18年度～推薦Ⅱ地域枠、平成21年度～推薦Ⅱ特別養成枠、平成22年度～一般入試地域枠
島根大学	2006	①2006年：地域枠推薦②2009年：緊急医師確保対策枠推薦③2011年：一般入試（県内定着枠）
岡山大学	2009	
広島大学	2009	
山口大学	2009	
徳島大学	2009	
香川大学	2009	
愛媛大学	2009	

大学名	実施年	補足事項
高知大学	2009	2009年は推薦Ⅱ（地域限定15人）のみ、2010年から一般入試で全国地域枠実施（2010年7人募集、2011年から10人に増）
佐賀大学	2008	佐賀県推薦入学は2008年度入試、推薦入試Ⅱ（長崎県枠）は2014年度入試
長崎大学	2010	長崎県医学修学資金に係る入試の開始年度。佐賀県医師修学資金、宮崎県医師修学資金に係る入試は2011年度開始。
熊本大学	2010	
大分大学	2009	
宮崎大学	2009	
鹿児島大学	2006	
琉球大学	2009	

【公立】

札幌医科大学	2008	
福島県立医科大学	2008	
横浜市立大学	2009	本学からではなく、神奈川県から修学資金の貸付が行われる
名古屋市立大学	2009	
京都府立医科大学	2008	
大阪市立大学	2010	
奈良県立医科大学	2008	
和歌山県立医科大学	2008	

【私立】

岩手医科大学	2007	新医師確保総合対策による増員枠
獨協医科大学	2010	
東邦大学	2015	
東京医科大学	2010	
東京慈恵会医科大学	2011	
順天堂大学	2009	2009年度は東京都地域枠（5名）のみ
杏林大学	2010	東京都地域枠、茨城県地域枠
北里大学	2010	
聖マリアンナ医科大学	2010	地域枠入試は実施せず、入学者の中から選抜している。
東海大学	2013	
金沢医科大学	2009	
藤田保健衛生大学	2015	
愛知医科大学	2012	
大阪医科大学	2015	
関西医科大学	2009	大阪府地域枠は2015年度から実施
近畿大学	2010	
兵庫医科大学	1972	昭和47年の開学年度から実施している。
川崎医科大学	2014	
久留米大学	2010	

II-【1】-2 (2) 地域特別枠の募集学生は何人ですか。直近の2年間についてお答えください

	全国	国立	公立	私立
平成27年度	59	32	8	19
回答校				
平均 (人)	14.0	17.3	12.6	8.9
最大	67	67	39	20
最小	2	3	5	2
平成28年度	59	32	8	19
回答校				
平均 (人)	14.2	17.4	12.6	9.4
最大	67	67	39	20
最小	2	3	5	2

(2) 募集学生数

大学名	H27	H28
【国立】		
弘前大学	67	67
秋田大学	24	24
山形大学	8	8
筑波大学	36	36
群馬大学	18	18
東京医科歯科大学	4	4
山梨大学	35	35
新潟大学	12	12
信州大学	20	20
富山大学	10	10
金沢大学	12	12
福井大学	10	10
岐阜大学	28	28
名古屋大学	5	5
三重大学	5	5
神戸大学	10	10
鳥取大学	32	32
島根大学	22	22
岡山大学	12	12
広島大学	20	20
山口大学	15	15
徳島大学	12	12
香川大学	14	14
愛媛大学	20	20
高知大学	25	25
佐賀大学	3	3
長崎大学	10	12
熊本大学	5	5
大分大学	13	13
宮崎大学	10	10
鹿児島大学	20	20
琉球大学	17	17
【公立】		
札幌医科大学	15	15
福島県立医科大学	39	39
横浜国立大学	5	5
名古屋国立大学	7	7
京都府立医科大学	7	7
大阪市立大学	5	5
奈良県立医科大学	13	13
和歌山県立医科大学	10	10
【私立】		
岩手医科大学	15	15
獨協医科大学	10	10
東邦大学	5	5
東京医科大学	10	10
東京慈恵会医科大学	5	5

大学名	H27	H28
順天堂大学	16	19
杏林大学	12	12
北里大学	11	10
聖マリアンナ医科大学	5	5
東海大学	5	5
金沢医科大学	5	5
藤田保健衛生大学	5	10

大学名	H27	H28
愛知医科大学	8	10
大阪医科大学	2	2
関西医科大学	15	15
近畿大学	20	20
兵庫医科大学	5	5
川崎医科大学	10	10
久留米大学	5	5

大学名 補足

【国立】

筑波大学	H27年度：推薦入試の合格者が定員に満たなかった9名を、前期日程で再度募集した。(定員は28名)
群馬大学	一般入試9人程度、推薦入試7人程度、第2年次編入学2人以内
山梨大学	募集人員としては、35名以内としている。
鳥取大学	推薦Ⅱ地域枠5人、推薦Ⅱ特別養成枠5人、一般入試地域枠22人
高知大学	推薦入試Ⅱ(四国・瀬戸内地域枠)15人、一般入試前期(全国地域枠)10人
長崎大学	長崎県医学修学資金、佐賀県医師修学資金、宮崎県医師修学資金に係る入学定員の合計
鹿児島大学	推薦入試Ⅱ：17名、2年次後期学士編入学生：3名

【公立】

福島県立医科大学	推薦入試B枠(県内12名程度・県外7名程度)、一般入試(前期)地域枠20名程度
----------	---

【私立】

獨協医科大学	A0栃木県地域枠入学試験：3名、栃木県地域枠入学試験：7名
東邦大学	H27年度：入学した後、全学生を対象に募集する
順天堂大学	H27年度：東京都地域枠10名、新潟県地域枠2名、千葉県地域枠4名(千葉県地域枠は入試枠として募集せず入学後に選抜) H28年度：東京都地域枠10名、新潟県地域枠2名、千葉県地域枠4名、埼玉県地域枠3名(千葉県地域枠および埼玉県地域枠は入試枠として募集せず入学後に選抜)
杏林大学	東京都10、茨城県2
北里大学	H27年度：山梨県地域枠2名、神奈川県地域枠5名、茨城県地域枠2名、相模原市修学資金枠2名 H28年度：山梨県地域枠2名、神奈川県地域枠5名、茨城県地域枠2名、相模原市修学資金枠1名
聖マリアンナ医科大学	推薦・一般入試の合格者の中から選抜している。
関西医科大学	特別枠10人、大阪府地域枠5人

Ⅱ-【1】-2 (3) 地域特別枠の志願学生は何人ですか

※非公開:1校、回答不可:1校

		全国	国立	公立	私立
平成27年度	回答校	57	31	7	19
	平均 (人)	98.3	81.8	86.7	129.4
	最大	484	222	200	484
	最小	5	8	22	5
平成28年度	回答校	57	31	7	19
	平均 (人)	88.1	78.9	74.1	108.3
	最大	404	236	170	404
	最小	4	11	22	4

(3) 志願学生数

大学名	H27	H28
【国立】		
秋田大学	83	79
山形大学	25	34
筑波大学	110	106
群馬大学	160	131
東京医科歯科大学	13	16
山梨大学	102	96
新潟大学	84	104
信州大学	67	68
富山大学	174	148
金沢大学	45	45
福井大学	101	93
岐阜大学	47	30
名古屋大学	65	78
三重大学	222	236
神戸大学	31	42
鳥取大学	141	129
島根大学	123	170
岡山大学	102	115
広島大学	69	72
山口大学	101	69
徳島大学	31	23
香川大学	57	70
愛媛大学	90	64
高知大学	170	145
佐賀大学	8	17
長崎大学	27	23
熊本大学	10	11
大分大学	80	76
宮崎大学	26	24
鹿児島大学	136	92
琉球大学	37	39
【公立】		
札幌医科大学	37	33
福島県立医科大学	199	170
名古屋市立大学	22	22
京都府立医科大学	22	29
大阪市立大学	99	91
奈良県立医科大学	200	147
和歌山県立医科大学	28	27
【私立】		
岩手医科大学	47	40
獨協医科大学	462	404
東邦大学	8	15
東京医科大学	25	28
東京慈恵会医科大学	120	121
順天堂大学	183	148
杏林大学	252	320
北里大学	100	85
聖マリアンナ医科大学	5	5

大学名	H27	H28
東海大学	247	127
金沢医科大学	10	4
藤田保健衛生大学	127	162
愛知医科大学	43	57
大阪医科大学	22	34

大学名	H27	H28
関西医科大学	484	217
近畿大学	34	48
兵庫医科大学	147	121
川崎医科大学	101	85
久留米大学	41	36

大学名	補足
【国立】	
群馬大学	H27年度：一般入試55人、推薦入試54人、第2年次編入学51人 H28年度：一般入試43人、推薦入試44人、第2年次編入学44人
福井大学	併願可
三重大学	一般枠との併願
鳥取大学	H27年度：推薦Ⅱ地域枠9人、推薦Ⅱ特別養成枠41人、一般入試地域枠91人 H28年度：推薦Ⅱ地域枠10人、推薦Ⅱ特別養成枠18人、一般入試地域枠101人
高知大学	H27年度：四国・瀬戸内地域枠69人、全国地域枠101人 H28年度：四国・瀬戸内地域枠70人、全国地域枠75人
長崎大学	長崎県医学修学資金、佐賀県医師修学資金、宮崎県医師修学資金に係る志願者の合計
宮崎大学	県にて1次選考済み
鹿児島大学	H27年度：推薦入試Ⅱ：53名、2年次後期学士編入学試験：83名 H28年度：推薦入試Ⅱ：43名、2年次後期学士編入学試験：49名
【公立】	
福島県立医科大学	H27年度：推薦入試B枠（県内13名・県外13名）、一般入試（前期）地域枠145名 H28年度：推薦入試B枠（県内43名・県外27名）、一般入試（前期）地域枠100名
横浜市立大学	志願者が3つの募集枠に対して志望順位をつけて出願するため、この枠のみの志願者数は出せない。
【私立】	
獨協医科大学	H27年度：A0栃木県地域枠入学試験：16名、栃木県地域枠入学試験：446名 H28年度：A0栃木県地域枠入学試験：11名、栃木県地域枠入学試験：393名
順天堂大学	H27年度：東京都地域枠（157名）、新潟県地域枠（26名） H28年度：東京都地域枠（134名）、新潟県地域枠（14名）
杏林大学	H27年度：東京都246、茨城県6 H28年度：東京都312、茨城県8

大学名	補足
北里大学	H27年度：山梨県地域枠26名、神奈川県地域枠4名、茨城県地域枠8名、相模原市修学資金枠62名 H28年度：山梨県地域枠15名、神奈川県地域枠1名、茨城県地域枠5名、相模原市修学資金枠64名
聖マリアンナ医科大学	推薦・一般入試の合格者の中から選抜している。
関西医科大学	H27年度：特別枠58人、大阪府地域枠426人 H28年度：特別枠44人、大阪府地域枠173人
近畿大学	推薦入試の出願時に地域枠を志願した数

II-[1]-2(4) 地域特別枠合格者は何人ですか

平成27年度		全国	国立	公立	私立
地域特別枠合格者（人）	回答校	59	32	8	19
	平均（人）	13.3	16.4	12.4	8.5
	最大	64	64	40	16
	最小	1	3	5	1
地域特別枠合格者数 / 全合格者数（%）	回答校	59	32	8	19
	平均（%）	10.4	13.8	10.7	4.5
	最大	48	48	29	10
	最小	1	3	5	1

平成28年度		全国	国立	公立	私立
地域特別枠合格者（人）	回答校	59	32	8	19
	平均（人）	13.5	16.7	11.9	8.8
	最大	64	64	40	21
	最小	1	3	3	1
地域特別枠合格者数 / 全合格者数（%）	回答校	59	32	8	19
	平均（%）	10.3	14.0	10.2	4.3
	最大	48	48	30	10
	最小	0	3	3	0

II-[1]-2(5) 最終的な地域特別枠の入学者は何人ですか

平成27年度		全国	国立	公立	私立
地域特別枠入学数（人）	回答校	59	32	8	19
	平均（人）	12.9	16.3	12.4	7.4
	最大	64	64	40	15
	最小	1	3	5	1
地域特別枠入学数 / 全入学数（%）	回答校	59	32	8	19
	平均（%）	11.0	13.9	10.9	6.2
	最大	48	48	31	13
	最小	1	3	5	1

平成28年度		全国	国立	公立	私立
地域特別枠入学数（人）	回答校	59	32	8	19
	平均（人）	13.0	16.7	12.0	7.3
	最大	64	64	40	15
	最小	1	3	4	1
地域特別枠入学数 / 全入学数（%）	回答校	59	32	8	19
	平均（%）	11.1	14.2	10.6	6.1
	最大	48	48	31	13
	最小	1	3	4	1

(4) 地域特別枠合格者数

大学名	平成27年度 人数 (%)		平成28年度 人数 (%)	
【国立】				
弘前大学	64	(48.4)	64	(48.4)
秋田大学	24	(19.0)	24	(18.9)
山形大学	8	(6.1)	8	(6.2)
筑波大学	25	(19.4)	27	(19.6)
群馬大学	18	(14.1)	18	(14.0)
東京医科歯科大学	4	(3.5)	4	(3.5)
山梨大学	35	(25.4)	35	(24.5)
新潟大学	12	(9.7)	12	(9.8)
信州大学	20	(16.7)	20	(16.7)
富山大学	10	(9.4)	10	(9.1)
金沢大学	12	(10.7)	12	(10.7)
福井大学	10	(9.1)	10	(9.1)
岐阜大学	28	(25.5)	28	(24.6)
名古屋大学	6	(5.4)	5	(4.5)
三重大学	5	(4.0)	5	(4.0)
神戸大学	10	(8.9)	10	(8.9)
鳥取大学	25	(22.7)	28	(25.2)
島根大学	15	(14.7)	22	(21.6)
岡山大学	12	(9.6)	11	(9.0)
広島大学	20	(16.4)	20	(16.7)
山口大学	14	(11.9)	14	(12.0)
徳島大学	12	(10.5)	11	(9.6)
香川大学	14	(12.6)	13	(11.5)
愛媛大学	20	(16.1)	20	(16.3)
高知大学	24	(21.8)	25	(22.7)
佐賀大学	3	(2.8)	3	(2.8)
長崎大学	10	(8.6)	10	(8.5)
熊本大学	5	(4.3)	5	(4.3)
大分大学	13	(13.0)	13	(13.0)
宮崎大学	10	(9.0)	10	(9.0)
鹿児島大学	20	(17.1)	20	(17.1)
琉球大学	17	(14.9)	17	(14.7)
【公立】				
札幌医科大学	15	(13.6)	15	(13.6)
福島県立医科大学	40	(29.4)	40	(29.9)
横浜市立大学	5	(5.3)	5	(5.4)
名古屋市立大学	7	(7.2)	7	(7.2)
京都府立医科大学	7	(6.5)	7	(6.5)
大阪市立大学	5	(5.3)	5	(5.3)
奈良県立医科大学	13	(11.2)	13	(10.7)
和歌山県立医科大学	7	(7.0)	3	(3.0)
【私立】				
岩手医科大学	15	(7.4)	15	(6.2)
獨協医科大学	15	(6.8)	12	(5.2)
東邦大学	5	(4.3)	5	(4.3)
東京医科大学	9	(3.8)	9	(3.9)
東京慈恵会医科大学	5	(4.5)	5	(4.5)
順天堂大学	12	(5.4)	11	(4.6)
杏林大学	12	(9.9)	12	(9.7)
北里大学	9	(2.6)	4	(1.5)
聖マリアンナ医科大学	5	(4.3)	5	(4.3)
東海大学	8	(5.2)	10	(5.3)
金沢医科大学	3	(1.2)	1	(0.4)
藤田保健衛生大学	8	(2.8)	21	(5.8)
愛知医科大学	14	(4.2)	19	(4.5)
大阪医科大学	1	(0.5)	2	(1.0)
関西医科大学	16	(8.2)	13	(7.4)
近畿大学	7	(2.4)	5	(1.4)
兵庫医科大学	4	(1.8)	5	(2.1)
川崎医科大学	9	(7.5)	10	(8.3)
久留米大学	4	(2.2)	3	(1.5)

(5) 地域特別枠入学者数

大学名	平成27年度 人数 (%)		平成28年度 人数 (%)	
【国立】				
弘前大学	64	(48.4)	64	(48.4)
秋田大学	24	(19.4)	24	(19.4)
山形大学	8	(6.4)	8	(6.4)
筑波大学	25	(19.4)	27	(19.6)
群馬大学	18	(14.6)	18	(14.6)
東京医科歯科大学	4	(4.0)	4	(4.0)
山梨大学	35	(28.0)	35	(28.0)
新潟大学	12	(9.8)	12	(9.8)
信州大学	20	(16.7)	20	(16.7)
富山大学	9	(8.6)	10	(9.5)
金沢大学	12	(10.7)	12	(10.7)
福井大学	10	(9.1)	10	(9.1)
岐阜大学	28	(25.5)	28	(25.5)
名古屋大学	5	(4.5)	5	(4.6)
三重大学	5	(4.0)	5	(4.0)
神戸大学	10	(8.9)	10	(8.9)
鳥取大学	25	(22.7)	28	(25.5)
島根大学	15	(14.7)	22	(21.6)
岡山大学	12	(10.0)	11	(9.2)
広島大学	20	(16.7)	20	(16.7)
山口大学	14	(12.0)	14	(12.0)
徳島大学	12	(10.5)	11	(9.6)
香川大学	14	(12.6)	13	(11.5)
愛媛大学	20	(17.4)	20	(17.4)
高知大学	23	(20.9)	25	(22.7)
佐賀大学	3	(2.8)	3	(2.8)
長崎大学	10	(8.6)	10	(8.5)
熊本大学	5	(4.3)	5	(4.3)
大分大学	13	(13.0)	13	(13.0)
宮崎大学	10	(9.0)	10	(9.0)
鹿児島大学	20	(17.1)	20	(17.1)
琉球大学	17	(14.9)	17	(14.7)
【公立】				
札幌医科大学	15	(13.6)	15	(13.6)
福島県立医科大学	40	(30.8)	40	(30.8)
横浜市立大学	5	(5.5)	5	(5.5)
名古屋市立大学	7	(7.2)	7	(7.2)
京都府立医科大学	7	(6.5)	7	(6.5)
大阪市立大学	5	(5.3)	5	(5.3)
奈良県立医科大学	13	(11.5)	13	(11.5)
和歌山県立医科大学	7	(7.0)	4	(4.0)
【私立】				
岩手医科大学	15	(12.2)	15	(12.2)
獨協医科大学	10	(8.3)	10	(8.3)
東邦大学	5	(4.3)	5	(4.3)
東京医科大学	9	(7.5)	9	(7.5)
東京慈恵会医科大学	5	(4.5)	5	(4.5)
順天堂大学	12	(9.4)	11	(8.4)
杏林大学	12	(9.9)	12	(9.7)
北里大学	6	(5.0)	2	(1.7)
聖マリアンナ医科大学	5	(4.3)	5	(4.3)
東海大学	5	(4.8)	5	(4.2)
金沢医科大学	3	(2.9)	1	(1.0)
藤田保健衛生大学	5	(4.3)	10	(8.3)
愛知医科大学	8	(7.1)	10	(8.7)
大阪医科大学	1	(0.9)	2	(1.8)
関西医科大学	15	(12.8)	15	(12.8)
近畿大学	7	(5.7)	4	(3.5)
兵庫医科大学	4	(3.6)	5	(4.5)
川崎医科大学	9	(7.5)	10	(8.3)
久留米大学	4	(3.4)	3	(2.5)

II-[1]-2 (6) 合格者数が定員を満たさない場合はどのような方法をとりましたか

方法
【国立】
1 過去、満たさなかった例がない。
2 他の入学試験において調整を行う
3 一般選抜から欠員を補充する。
4 他の入試枠で定員を充足する。
5 定員を満たしている
6 合格者数が定員を満たしている。
7 該当なし
8 満たしている
9 合格者が定員を満たさない場合はない
10 不足した人員を前期日程の募集人員に加える
11 これまではありません。
12 一般入試で医学類全体の定員を充足させるが、地域枠として定員を満たすわけではない。
13 一般枠に振り替えて合格者を選抜する
14 定員を満たさなかった年度はありませんでした。
15 一般入試の合格者で補充
16 ○○県が入学後に奨学金受給者を募集している。
17 追加合格を実施
18 一般入試（前期日程）一般枠で補充
19 入学後に追加募集を実施
20 入学定員は一般入試で確保している。
21 一般入試前期日程の募集人員に充てる。
22 定員を満たさない場合はない
23 過去に合格者数が定員を充足しなかったことはない。入学者数が定員を満たさない場合は、不足分を後期日程の募集人員に加えている。
【公立】
24 追加合格を行う
25 一般入試の募集人員に加える。
26 一般入試合格者から希望者を募り、面接により決定している。
27 一般入試前期日程（一般枠）で欠員分を募集する
28 例年、定員は充足しています。
29 欠員は生じていない。
【私立】
30 定員を満たしており、その状況にない。
31 補欠者の中から繰上げを行った。
32 定員を満たさないことがないため回答できない
33 自治体と協議のうえ、入学後に募集した。
34 前例がない
35 欠員とした。
36 過去3年実施しているがいずれも定員を満たしている。
37 特に行っていない
38 一般入試合格者で調整を行った
39 一般入試（前期）において補充する
40 該当する募集分野外で再募集を呼び掛ける
41 一般入試で補充
42 これまで入学定員は満たしているが、推薦入試で不足した場合、一般入試（前期）合格者から追加する

II-[1]-2 (7) 合格基準をどのようにしていますか

合格基準	
【国立】	
1	センター試験成績を基準に面接点に重点をおいて判定
2	大学入試センター試験（500点満点）及び面接試験（100点満点）の総合計の高得点順に合格候補者を決定している。 大学入試センター試験の合格基準として、大学入試センター試験において8割以上の成績を修めていることを合格の基準としている。 面接試験の合格基準として、面接試験において、面接委員5名のうち3名以上が1点（10点満点で10点・7点・3点・1点の4段階）の評価を付けた者については、合格候補者としなない。
3	自己推薦書、調査書、課題作文及び面接の結果並びに大学入試センター試験の成績を総合して選抜する。 本学が課す大学入試センター試験の合計得点が配点（900点）の80%（720点）以上の者を合格者の対象とする。
4	センター試験（学力試験）＋面接＋調査書（推薦Ⅱは志望理由書も含む）を総合評価
5	奨学金と連動した地域特別枠とそれ以外で違いはない
6	医学類の他の入学試験と同様に考えています。
7	入試総得点による選抜
8	センター試験、面接、出身高等学校の調査書及び高等学校長の推薦書に基づいて総合判定し選抜する（推薦入試Ⅱ） 出願書類や学力試験、面接の結果を総合して合格者を決定する（2年次後期学士編入学試験）
9	〇〇県による面接の結果を参考に合格者を決定している。
10	成績上位から合格者を決定
11	大学入試センター試験において、710点以上を得た受験生の中から、大学入試センター試験、個別学力検査の成績及び面接（調査書の評価及び志望の動機を含む。）の成績を合わせて総合的に判定する。大学入試センター試験において710点に達しない場合は、「一般枠」で合否判定をする。 なお、面接の結果によっては、総合点にかかわらず不合格とすることがある。 また、総合点が同点の場合は、個別学力検査等の成績により順位を付ける。
12	募集要項にアドミッションポリシーと合格基準を記載している。〇〇県の地域医療に貢献する意志と〇〇県医学生修学資金（第1種）の受給を要件とし、総得点の上位から合格とする。
13	学科内で規定
14	第1次選考合格者に対し面接及び提出された推薦書、調査書、志望理由書による選考（面接は、医学科学生としての適正、能力等を評価）を行い、第1次選考結果と総合して合格者を決定する。
15	大学入試センター試験と面接試験の結果の合計得点が高い順。
16	出願者数が募集人員の2倍を上回った場合は、書類及びセンター試験で第1次選考を実施し、合格者について、第2次選考として面接・口述試験を実施し、センター試験・書類と総合して上位10名を合格者とする。
17	センター試験の成績、調査書、推薦書、志望理由書及び面接の結果を総合して判断

合格基準	
18	第1次選抜は原則として小論文と面接の総合点で合否を判定するが、ある科目の成績が水準以下の場合は、総合点の如何にかかわらず不合格となることがある。第2次選抜は大学入試センター試験の成績により合否を判定する。
19	地域医療への意欲
20	センター試験の成績、小論文、面接、推薦書、調査書等を総合して判断する
21	総得点の高い順に募集人員の範囲内で合格者を決定する。
22	学内基準により実施
23	基礎学力、地域医療機関等での体験活動、市町村長等による面接等の資料を参考とした個人面接による地域医療への理解と使命感の強さ
24	大学入試センター試験、志望理由書、調査書及び面接により総合的に実施
25	大学入試センター試験及び個別学力検査等の総合点により順位付けを行い、合否を決定する
26	一般枠と同一の基準
27	推薦入試の合格者のうちから地域枠学生を選出しているため、地域枠の合格基準は設けてはいない
28	合格基準点は定めていない。
29	大学入試センター試験の成績、面接の評価、調査書など出願書類の内容により総合的に判定する。 面接の評価によっては、大学入試センター試験の成績に関わらず不合格とすることがあります。
30	大学入試センター試験（傾斜後）得点と面接点の合計による
31	大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が原則として80%に満たない学生は対象しない。
【公立】	
32	大学入試センター試験成績により選抜の対象者を判定し、第二段階選抜にて学力試験、面接試験を実施し、合格者を決定する
33	成績上位順
34	一般入試に準じている
35	総合順位の高い順に、合格者を選抜している。
36	第1段階選抜（センター試験の成績）を実施し、第2段階選抜においてセンター試験の成績、推薦書、調査書、志望理由書及び面接試験の成績による審査の結果を総合して入学者の選抜を行う。
37	大学入試センター試験の成績により第一段階選抜を行った後、面接により人物評価を行う。
【私立】	
38	一次試験（学力試験、調査書）と二次試験（小論文試験、面接試験、大学入試センター試験）の成績を総合的に判断し、合格者を選抜。
39	志望動機所書の内容と、〇〇県庁職員との面談。
40	一般入学者と同じ基準
41	基礎学力テスト、小論文、面接並びに提出された推薦書および調査書等の出願書類を総合的に判定
42	一般入試（前期）の合格基準に準じる
43	一般入試と同じ
44	成績上位者

合格基準	
45	入学試験に連動させているため、入学試験の合格基準に順ずる（卒業後の指定地域への就業の意については、面接時に確認）
46	第一次試験は学力検査の成績、第二次試験は学力検査、小論文、面接の成績及び調査書を総合的に判定して合格者を決定する
47	一般入試との併願が可能であり、一般入試同様に学力を前提とし別に面接試験を重点的に行い地域医療参画・意欲・資質等を総合的に評価して選抜した。
48	含めている
49	入学した後、地域医療に関する興味・関心を面接や小論文にて評価。

合格基準	
50	学科試験・小論文・面接試験および提出書類(志望理由書・推薦書・調査書)の評価を総合的に審査
51	一般入試と同じ
52	本学の一般入学試験に合格し、かつ〇〇県の実施する選考試験に合格すること。
53	筆記試験、小論文、面接、志望理由書による総合評価

II-[1]-2 (8) 奨学金と連動した地域特別枠を設置した動機は何ですか

大学名	動機
【国立】	
弘前大学	地方自治体からの要望
秋田大学	地方自治体からの要望。
山形大学	地方自治体からの要望を踏まえ、県内への医師定着促進を図るため設置した。
筑波大学	緊急医師確保対策に伴う茨城県との協議に基づくもの
群馬大学	群馬県からの要望
東京医科歯科大学	地方自治体からの要望
山梨大学	新医師確保対策としての医学部教授会による検討結果並びに地方自治体からの要望
新潟大学	大学入試センター試験の成績、面接の評価、調査書など出願書類の内容により総合的に判定する。 面接の評価によっては、大学入試センター試験の成績に関わらず不合格とすることがあります。
信州大学	地方自治体からの要望
富山大学	緊急医師確保対策に基づく選抜制度であり、富山県等の要望を受けて設置した。
金沢大学	地方自治体からの要望
福井大学	地方自治体からの要望
岐阜大学	国の政策（新医師確保総合対策等）、県からの要望
名古屋大学	愛知県からの要望による
三重大学	地方自治体等の要望
神戸大学	兵庫県からの要望等
鳥取大学	地方自治体からの要望による
島根大学	県、関係市町村からの強い要望
岡山大学	地方自治体からの要望
広島大学	県との協議
山口大学	国の政策のため
徳島大学	地域医療を支える医師不足への対応、全ての県民に必要な医療を提供できる体制を今後も維持するため
香川大学	地方自治体からの要望
愛媛大学	愛媛県下の山間部、島嶼部だけでなく市部においても、公立の病院や診療所などの医療機関において医師不足が顕在化し、医学部に対しての医師派遣の要請が急増しているという問題がある。その問題を解決するためには、卒業後愛媛県内で活躍し、医療・保健福祉業務に従事する強い意志と使命感を持つ優れた医師を養成することが必要だと考えたため。
高知大学	県内若手医師不足解消、県からの要望、卒業後県内定着率向上
佐賀大学	地域医療に貢献する医師を確保する対策として県と協議
長崎大学	地方自治体からの要望

大学名	動機
熊本大学	地方自治体からの要望
大分大学	大分県からの要望
宮崎大学	地方自治体からの要望
鹿児島大学	地方自治体からの要望
【公立】	
札幌医科大学	北海道からの要望。
福島県立医科大学	福島県内に勤務する医師を確保するため
横浜市立大学	国の施策に基づいた、地方自治体からの要望
名古屋市立大学	平成19年8月文部科学省等の関係省庁連絡会議でとりまとめられた緊急医師確保対策に基づくもの
京都府立医科大学	京都府からの要望（緊急医師確保対策）
大阪市立大学	地方自治体からの要望。
奈良県立医科大学	地域医療の充実のため
和歌山県立医科大学	へき地医療を担う医師を養成するため。
【私立】	
岩手医科大学	岩手県内の医師確保対策の一環として。
獨協医科大学	国の医師確保対策のひとつとしての医学部定員増が図られたことにより
東邦大学	地域に根ざした医療の実践
東京医科大学	地方自治体からの要請による。
東京慈恵会医科大学	東京都からの要望
順天堂大学	地域医療における医師不足改善と地域貢献のため。
杏林大学	国と地方自治体からの要望
北里大学	自治体からの要望
聖マリアンナ医科大学	地方自治体からの要望。
東海大学	地方自治体からの要望
金沢医科大学	地域医療を担う医師の育成
藤田保健衛生大学	愛知県からの要望に加えて本学が担う地域医療支援の中心的な役割を将来担ってもらうことを目指している。
愛知医科大学	平成22年に閣議決定された「新成長戦略」等を踏まえた地域の医師確保等に早急に対応するため愛知県との協議により導入した。
大阪医科大学	大阪府地域医療確保修学資金貸与制度に基づく定員であるため
関西医科大学	文部科学省や大阪府からの要請
近畿大学	地方自治体からの要望等
兵庫医科大学	兵庫県からの要望。
川崎医科大学	医師不足が深刻な県の地域医療を担う医師を養成し、医師不足を解消する
久留米大学	福岡県からの要請によるもの

II-【1】-2 (9) 奨学金と連動した地域特別枠設置の「目的」と「理念」を設定していますか

	全国		国立		公立		私立	
回答校	59		32		8		19	
1 はい	43	72.9%	26	81.3%	3	37.5%	14	73.7%
2 検討中	1	1.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.3%
3 いいえ	15	25.4%	6	18.8%	5	62.5%	4	21.1%

大学名	具体的内容
【国立】	
東京医科歯科大学	国の「経済財政改革の基本方針2009」を踏まえた医学部入学定員増に伴い茨城県及び長野県と連携し、将来茨城県あるいは長野県内の地域医療を担う人材を育成することを目的とする。
山梨大学	県内での医師不足解消を目的に将来地域医療に従事する人材を育成する。
新潟大学	将来、新潟県内の地域医療を担おうとする気概と情熱に富んだ医学生に対し、奨学金を貸与し、就学支援を行っている。
信州大学	地域とともに歩む信州大学は、地域医療を背負う医師の育成を、地方自治体と協力しつつ推し進めることを使命のひとつとしています。信州大学医学部医学科では、将来の長野県の医療を支える医師となることを決意した方を対象に「長野県内枠推薦入試制度」を平成17年4月入学者から実施しています。また、長野県では、長野県の地域医療等に従事するという強い意志を持った学生が「長野県医学生修学資金」の貸与を希望した場合には、入学後、選考のうえ最大10名に優先的に貸与されます。【募集要項「趣旨」より抜粋】
富山大学	富山大学として富山県内の医師不足を打開するため、富山県及び県内医療機関等とも緊密な連携・協力を図りつつ、将来、県内の地域医療を担う人材を育成する。
金沢大学	将来、石川県並びに富山県の地域医療をリードする指導的人材の育成を目的とする。
福井大学	福井大学医学部では、①人間形成を基盤に、生命尊重を第一義とする医の倫理を体得する ②高度な医学・看護学知識を修得した、信頼し得る医療人および研究者を育成する ③医学・看護学の進展、ならびに地域医療の向上に寄与することを教育理念とし、これまでに多くの優れた医療人および教育・研究者を福井県はもとより全国に輩出し、広く社会に貢献しています。医学科では、①幅広い医学知識を持ち質の高い臨床能力を身につけ ②コミュニケーション能力に優れ、高い倫理観を持って患者中心の医療を実践でき ③日々進歩する医学知識・医療技術を生涯にわたり学ぶ習慣を身につけ、根拠に立脚した医療を実践できる医療人を育成します。そして、④世界をリードする生命科学研究者や医学教育者となりうる人や ⑤個人と地域・国際社会の健康増進と疾病の予防・根絶に寄与し、国際的な視野でまたは地域に根ざした活動ができる人を育成します。
岐阜大学	県内の地域医療を確保すること
名古屋大学	愛知県内の地域医療を担う人材を育成するため
三重大学	県内の地域医療に従事する明確な意思を持った学生を選抜
神戸大学	将来の兵庫県における医療を担う人材を兵庫県と連携して育成する。
鳥取大学	県内の民間救急病院を含む病院及び自治体診療所の勤務医確保
島根大学	島根県の医師として活躍するに十分な資質と明確な目的意識を持ち、へき地医療を中心とする島根県の医療に貢献したいという強い使命感を持った学生を発掘し、選抜することを目的としている。
岡山大学	目的：地域や診療科による医師偏在及び医師不足を解消するため
広島大学	全国的に医師不足の問題が指摘されている中、広島県及び岡山県においても中山間地域や一部の診療科などで、必要な医療体制を確保し、維持していくことが難しい状況が生まれています。広島大学医学部医学科推薦入試（ふるさと枠）では、国の「緊急医師確保対策」や広島県及び岡山県が策定した「地域医療再生計画」に基づき、将来広島県又は岡山県での地域医療を担う人材を広島県及び岡山県と連携して育てます。地域医療に強い関心を持ち、地域に定着する意志を持つ人の入学を期待しています。
山口大学	地域医療に貢献できる人材の育成のため
徳島大学	徳島県内で地域医療を担って活躍する「エキスパート」としての医師を養成・確保することを目的として、地域医療機関との連携による教育の充実を通して、学生の地域医療への理解と同期付けを高めるとともに、卒後研修及びキャリア形成支援を通して、地域への医師定着を目指す。
愛媛大学	地域医療の担い手となる高い使命感と倫理観を有し、地域社会において医学・医療の発展に貢献できる医師の養成を行う。
高知大学	地域における医師不足解消、高知県の地域医療の充実、地域医療を担う医療人の育成
佐賀大学	県内の医師不足の解消、良き医療人の育成と地域包括医療の向上
長崎大学	地域（離島含む）医療に貢献できる医療人を育成する。
熊本大学	地域に必要な医療を確保するため、医師として勤務しようとする学生を確保する。
大分大学	大学卒業後、大分県の地域医療に貢献したいという強い意志を有する学生に対し、奨学金（修学資金）を貸与し、その貸与期間の3/2の期間を大分県が指定する医療機関で勤務することで返還免除をしており、地域医療従事期間終了後も将来に渡って大分県の地域医療に貢献する意思を要請することを目的としている
宮崎大学	国の緊急医師確保対策に基づき、明日の宮崎県の医療を担うという強い意志を有する地元の生徒を求めため

大学名	具体的内容
鹿児島大学	患者と地域社会のために最善の医療を実施する優れた臨床医としての能力、科学的思考力を有する人材育成
琉球大学	将来の沖縄県の地域医療を担う人材を育成すること

【公立】

札幌医科大学	将来医師として道内の医師が不足する地域に所在する公的医療機関に勤務しようとする者に対し、その修学又は研修に必要な資金を貸し付けることにより、地域医療を担う医師の養成及び確保を図り、もって道内における医療の提供体制の充実に資することを目的とする。
横浜市立大学	良質かつ適切な周産期医療を効率的に提供する体制の確保に資すること
京都府立医科大学	京都北部医療など、京都府で活躍する医師の養成

【私立】

東京医科大学	将来、茨城県、山梨県知事の定める医療機関において一定期間医師の業務に従事しようとする熱意のある入学者を選抜するもので、茨城県、山梨県出身者を対象とする入学試験
東京慈恵会医科大学	卒後、小児医療、周産期医療、救急医療、へき地医療のいずれかの領域で医師として従事する
順天堂大学	医師として活躍するに十分な素質と明確な目的意識をもち、地域医療に貢献したいという強い使命感をもった意欲ある学生の発掘を目的としている。
杏林大学	東京都地域枠：将来、医師として東京都の小児医療、周産期医療、救急医療、へき地医療に貢献したいと考えている東京都在住又は東京都内の高等学校等の卒業（見込）者を対象とし、熱意と素質を持った入学者を選抜することを目的とします。 茨城県地域枠：将来、医師として茨城県の地域医療に従事し貢献したいと考えている茨城県内の高等学校等の卒業（見込）者、茨城県在住の保護者の子を対象とし、熱意と素質を持った入学者を選抜することを目的とします。
北里大学	地域医療に従事する明確な意思を持った者を受け入れ、将来、医師不足地域の医療機関に勤務する医師を養成することを目的とする。
聖マリアンナ医科大学	神奈川県内の地域医療に関連する診療科を担当する医師が不足していることから、将来、県内において地域医療を担う医師の育成と確保を図り、県民が健やかに安心してらせることのできる地域医療の提供体制を維持確保するため。
東海大学	全国的に医師不足が問題となる中、国では、2009年6月に閣議決定された「経済財政改革の基本方針2009」を踏まえ、地域の医師確保等に早急に対応するため、医学部入学定員の増員を緊急臨時的に認めることとし、都道府県が策定する地域医療再生計画に位置付け、地域の医師確保に係る奨学金を都道府県が設定すること等を条件に入学定員の増員が認められることになりました。 神奈川県においても、医師数自体は増加しているものの、人口10万人当たりの医師数は全国平均を下回っており、また、産婦人科の医師や病院勤務の小児科の医師が減少しているなど、地域医療を担う医師の確保が重要な課題となっています。そこで、神奈川県は、国の措置に対応して新たに修学資金貸付制度を設け地域医療に従事することを目的として、医学部入学定員の増加を図ることになりました。 これに基づき本学医学部では、地域医療に貢献する医師の育成が教育の理念であることから、神奈川県内の地域医療再生計画に呼応した「神奈川県地域枠」を入学定員として設置しました。「神奈川県地域枠」は、将来神奈川県内の医療機関において、一定期間以上、産科（産科の診療を行う産婦人科を含む。）、小児科、麻酔科、外科、内科又は救急科に従事する良医の育成を目的として募集を行います。
金沢医科大学	近年、地域住民の医療を支える医師の不足や偏在が大きな社会問題となるなか、地域の医療を担う医師の育成が強く求められている。本学は石川県内及び富山県氷見市の関連医療機関と連携をしており、これらの地域医療に貢献している。指定校推薦入学は石川県内の高等学校を指定校として県内の地域医療を担う医師の育成を目的としており、強い使命感と意欲のある人材を求めている。更に、指定地域推薦入学は隣県富山県氷見市に在住し、氷見市の地域医療に貢献する強い意志を持った人材の育成を目的としている。氷見市長からの推薦がある方を対象とする。
藤田保健衛生大学	「目的」…入学時及び在学中における学費等の経済的支援をもって、愛知県内の医師の確保が困難な地域における医師の確保に資すること。 「理念」…愛知県内で医師不足による疲弊が著しい医療機関で勤務する医師の確保・配置に資するための地域医療を担う医師の養成を推進する必要性。
愛知医科大学	国の政策に基づき、将来愛知県の地域医療に貢献しようとする強い意志を有する者を対象に入学者を選抜する。
関西医科大学	選抜をより多面的かつ適正妥当なものにすることで、医師不足診療科・地域に貢献する
兵庫医科大学	兵庫県内のへき地医療の向上とへき地医療従事者の確保を図るため。
川崎医科大学	本学の建学の理念に賛同し、静岡県内・長崎県内での全人的な医療を志す有為な人材を求める
久留米大学	福岡県内の地域医療に貢献する明確な意思を持つ者を対象とした入学枠として募集します。

II-【1】-2 (10) 卒後、地域医療従事義務を設けていますか

※「義務ではないが制度はある」(2いいえ)回答:1校

	全国	国立	公立	私立
回答校	59	32	8	19
1 はい	56 94.9%	30 93.8%	8 100.0%	18 94.7%
2 いいえ	3 5.1%	2 6.3%	0 0.0%	1 5.3%

1) 義務年限は何年ですか

	全国	国立	公立	私立
回答校	57	31	8	18
平均 (年)	8.8	8.9	8.5	8.9
最大	12	12	9	10
最小	3	3	5	5

(集計では、幅のある回答の最大値を採用)

大学名	義務年限	補足事項
【国立】		
弘前大学	12年	
秋田大学	9年	県内の公的医療機関等で貸与期間の1.5倍に相当する期間を県内の公的医療機関等で引き続き勤務
山形大学	8年	
筑波大学	9年	
群馬大学	10年	貸与期間の3分の5に相当する期間
東京医科歯科大学	9年	奨学金貸与年数の1.5倍
山梨大学	9年	1種は卒後6年の期間内に3年以上、2種は卒後15年の期間内に9年以上県内の医療機関に勤務すること。
新潟大学	9年	卒後臨床研修を含め全部で9年
富山大学	9年	9年には卒後臨床研修の2年は含まない。
金沢大学	3年	
福井大学	9年	
岐阜大学	11年	初期臨床研修(2年間)+指定勤務(9年間)
名古屋大学	9年	愛知県内の臨床研修指定病院(2年間)及び愛知県が指定する公的医療機関(7年)
三重大学	6~10年	三重県医師修学資金の規定による
神戸大学	9年	1~2年目・前期臨床研修、3~5年目・前期派遣、6~7年目・後期臨床研修、8~9年目・後期派遣
鳥取大学	6~9年	
島根大学	6年 ないし 9年	①地域枠推薦入試：大学卒業後12年の間に6年間(初期臨床研修期間を含む) ②緊急医師確保対策枠推薦入試：大学卒業後12年の間に9年間(初期臨床研修期間を含む) ③一般入試県内定着枠：大学卒業後12年の間に6年間(初期臨床研修期間を含む)
岡山大学	9年	一部、8年の県がある。
広島大学	9年	
山口大学	9年	
徳島大学	9年	
香川大学	9年	香川県内で初期臨床研修を行った場合、義務年限より2年減免
愛媛大学	9年	大学卒業後、3年間の研修期間を含めて9年間
高知大学	9年	貸与期間(6年)の1.5倍
佐賀大学	9年	推薦入試Ⅱ(長崎県枠)は9年。佐賀県推薦入学は8年(ただし、初期研修は含まない)
長崎大学	9年	長崎県医学修学資金の場合。佐賀県医師修学資金、宮崎県医師修学資金は6年。
熊本大学	9年	卒業後の一定期間(貸与期間の1.5倍に相当する期間)
大分大学	9年	奨学金(修学資金)貸与期間の3/2の期間
宮崎大学	6年	医師修学資金貸与年数の2倍の期間内に貸与年数(6年)勤務する
鹿児島大学	8年	【推薦入試Ⅱ】臨床研修：2年間、義務勤務：6年間(臨床研修後12年以内) 【2年次後期学士編入学】臨床研修：2年間、義務勤務：5年間(臨床研修後9年以内)
琉球大学	9年	義務の規程はない。9年間で債務が免除される
【公立】		
札幌医科大学	5年	初期臨床研修終了後7年間のうち、規定に基づく5年間
福島県立医科大学	9年	
横浜国立大学	9年	初期臨床研修の2年間を除く
名古屋市立大学	9年	
京都府立医科大学	9年	大学在学期間により延長の場合あり

大学名	義務年限	補足事項
大阪市立大学	9年	
奈良県立医科大学	9年	
和歌山県立医科大学	9年	

【私立】

岩手医科大学	9年	初期臨床研修期間を除く
獨協医科大学	9年	
東邦大学	9年	奨学金を受けた期間の1.5倍の期間（通常6年間受けて9年間従事）
東京医科大学	9年	
東京慈恵会医科大学	9年	奨学金給付期間の1.5倍以上の期間
順天堂大学	9年	
杏林大学	9年	
北里大学	9年	
聖マリアンナ医科大学	9年	臨床研修を除く
東海大学	9年	
金沢医科大学	5年	
藤田保健衛生大学	10年	本学又は関連病院（愛知県内）で初期・後期臨床研修の5年間、その後、愛知県が指定する公的医療機関において5年間地域医療に従事。
愛知医科大学	10年	
大阪医科大学	9年	
関西医科大学	10年	大阪府地域枠は9年
兵庫医科大学	9年	義務年限には初期臨床研修及び後期研修期間を含む。
川崎医科大学	9年	医学修学資金の貸与を受けた期間の1.5倍の期間
久留米大学	9年	2年間の臨床研修含む

2) 医療従事を行う地域または医療機関を指定していますか

	全国	国立	公立	私立
回答校	57	31	8	18
1 はい	57 100.0%	31 100.0%	8 100.0%	18 100.0%
2 いいえ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

大学名	具体的内容
【国立】	
弘前大学	毎年、学部内委員会において検討・決定
秋田大学	臨床研修期間中に、研修終了後の進路やキャリア形成に関する希望を「あきた医師総合支援センター」がお聞きします。その希望内容や医療機関の医師充足状況等を考慮して、最終的には、大学、県医師会、病院の代表者で構成する「地域医療対策協議会医師配置調整部会」において、勤務医療機関や勤務する時期を決定する。
山形大学	山形大学医学部附属病院又は山形県内の公的病院を含む山形関連病院会に加盟する医療機関
筑波大学	茨城県知事の定める医師不足地域
群馬大学	群馬県内の特定病院
東京医科歯科大学	卒業者が現時点ではないので不明である。なお、指定先は各地方自治体により指定される予定。 【茨城県】茨城県の定める医療機関 【長野県】長野県内の公立・公的病院等
山梨大学	県内の公立病院又は県内の特定公立病院（本学医学部附属病院を含む。）
新潟大学	新潟県が指定する。
富山大学	奨学金事業を実施する富山県において医療従事先を指定する。
金沢大学	石川県知事又は富山県知事が指定する
福井大学	県立、市町立の病院、大学病院、国立病院機構等
岐阜大学	岐阜県内で初期臨床研修を修了し、その後岐阜県医師育成・確保コンソーシアム（※）が作成したプログラムに基づき、岐阜県内の医療機関で9年間業務に従事し、うち少なくとも6年間に知事が指定する医療機関（計113）で勤務。 ※岐阜県医師育成・確保コンソーシアム：岐阜県内に勤務する医師の育成と地域医療の確保を目的として、岐阜大学医学部、同附属病院と研修医が多く集まる病院が幹事となり構成される組織
名古屋大学	愛知県内の医師の確保が困難な地域に所在する公的医療機関のうち、知事が指定する医療機関で、「地域の中核病院」などを想定している。
三重大学	三重県医師修学資金のプログラムによる
神戸大学	兵庫県が指定する公立病院等しているが詳細については今後検討する。

大学名	具体的内容
鳥取大学	県知事が指定する県内医療機関
島根大学	指定医療機関（県内の公的病院、地域医療拠点病院、臨床研修病院等）、特定地域医療機関（県内の過疎地域の公的病院、地域医療拠点病院等）
岡山大学	各県により異なる。
広島大学	（広島県コース）知事が指定する中山間地域の公的医療機関等または知事が指定する診療科（岡山県コース）岡山県が指定する医療機関
山口大学	県が独自に指定
徳島大学	徳島県内の公的医療機関
香川大学	香川県が定めている。
愛媛大学	県及び市町立の医療機関、愛媛大学医学部附属病院等のうちから愛媛県及び大学において調整のうえ貸与生の希望も踏まえ決定する。
高知大学	本人の希望＋臨床研修マッチング制度＋県との面談
佐賀大学	推薦入試Ⅱ（長崎県枠）県が指定する医療機関等。佐賀県推薦入学 初期研修は県内の機関型臨床研修病院、専門研修研修は県が指定した医療機関、業務従事は県が指定した医療機関の小児科、産科、救急科又は麻酔科）
長崎大学	各入試枠の県内（長崎、佐賀、宮崎）連携医療機関
熊本大学	知事が指定する病院等。（熊本県医師修学資金貸与条例で定められている。）
大分大学	大分県の指定する医療機関
宮崎大学	宮崎県が指定するへき地や小児科等の公的医療機関等で勤務
鹿児島大学	初期研修以外は、県の指定する病院や診療所で、決定は本人との話し合い。
琉球大学	本学医学部附属病院を中心とし、県立病院との連携も視野に入れている

【公立】

札幌医科大学	知事が指定する道内の公的医療機関に勤務する。
福島県立医科大学	県内の公的医療機関等
横浜国立大学	神奈川県知事が指定する
名古屋市立大学	愛知県が指定する公的医療機関
京都府立医科大学	京都府の条例（施行規則）で規定
大阪市立大学	一般枠の学生と同様に、マッチングによって勤務先を決定することとしている。
奈良県立医科大学	県の条例で決まっている。
和歌山県立医科大学	県と協議の上、決定している。

【私立】

岩手医科大学	岩手県からの奨学金のため、県が指定する。
獨協医科大学	栃木県が定める公的医療機関等に本人の意向を聞いた上で、その時々医師不足の状況等を勘案して一人一人個別に決定される。
東邦大学	県が指定する病院の中から本人の意向を考慮して決定する
東京医科大学	知事の定める医療機関
東京慈恵会医科大学	東京都および東京都が指定する医療機関
順天堂大学	地域の自治体が地域・医療機関を選定している。
杏林大学	東京都地域枠：小児医療、周産期医療、救急医療、へき地医療のいずれかの領域 茨城県地域枠：知事の指定する医療機関
北里大学	自治体による指定
聖マリアンナ医科大学	学生、大学、神奈川県医療対策協議会において協議の上、決定する。
東海大学	神奈川県が指定しています
金沢医科大学	金沢医科大学病院および金沢医科大学氷見市民病院
藤田保健衛生大学	愛知県が指定する公的医療機関の決定は以下のとおり。 1. 赴任先となる病院の選定 (1) 病院の状況調査<県> (2) 赴任先となる病院の選定 (3) 診療科別のキャリアパスの作成 2. 個々が赴任する先の調整 (1) 地域枠医師への意向確認<大学> (2) 個々の赴任先案の作成<大学> (3) . 大学間調整<大学間協議会> 3. 地域枠医師の赴任先の決定<県>
大阪医科大学	9年間以上、大阪府内の病院に勤務すること。うち5年間は大阪府が別途定める診療業務に従事すること
関西医科大学	特別枠は本学が指定する病院の診療科、大阪府地域枠は大阪府が指定する病院の診療科
兵庫医科大学	本人、医療機関との調整の上、へき地医療支援委員会において策定した派遣計画案をもとに兵庫県が決定する。
川崎医科大学	各県が本人の意向を聴取した上で県が個別に指定する医療機関の中から決定する
久留米大学	福岡県内における9年間（2年間の臨床研修含む）の小児科・産科・外科（脳神経外科、整形外科等の外科標榜科を含む）・麻酔科・救命救急としての勤務その他福岡県知事が認める勤務

3) 特別なカリキュラムは準備されていますか

	全国	国立	公立	私立
回答校	57	31	8	18
1 はい	23 40.4%	14 45.2%	1 12.5%	8 44.4%
2 いいえ	34 59.6%	17 54.8%	7 87.5%	10 55.6%

大学名	具体的内容
【国立】	
東京医科歯科大学	選択科目として、「地域医療学習プログラム」を設け、各自治体が主催する研修を義務づけている。
福井大学	地域医療学実習
名古屋大学	地域医療教育学講座が担当する授業の必修化、地域医療関係の課外実習への参加の義務づけ等
鳥取大学	早期体験・ボランティア、地域医療概論、地域医療チュートリアル、地域医療体験、臨床実習Ⅱ（地域医療実習）
島根大学	島根大学が実施する「COC人材育成コース」に属し、コースカリキュラムに基づいてベースストーン科目・キャップストーン科目・インターシップを段階的に履修する。
岡山大学	早期地域医療体験実習（2週間）の義務化、地域医療体験実習の義務化（2週間、なお一般枠は1週間）
広島大学	夏、冬、春長期休暇中実施する地域医療セミナー、毎週水曜昼食時開催のセミナー
愛媛大学	特に初期研修2年間は、附属病院で行う。
佐賀大学	地域枠入学生特別プログラム
長崎大学	地域医療ゼミ
熊本大学	地域医療・総合診療実践学寄附講座が貸与生のキャリアアップの制度設計を行っている。
宮崎大学	「地域医療ガイダンス」参加、へき地医療機関での実習が必修、「地域社会と医療」の受講
鹿児島大学	県からの委託により、夏休み特別離島医療実習を行っている。ただし卒業要件単位には含まれない。
琉球大学	①離島へき地診療所での体験学習を大学独自で、また県が計画して実施するなどしている。 ②一年次では、県外地域病院実習も行っている。
【公立】	
名古屋市立大学	3年生の基礎自主研修において地域医療について研修する
【私立】	
東邦大学	受給学生を対象とした地域医療セミナー
東京慈恵会医科大学	選択カリキュラムで対応している。教員が適宜面接を行いフォローアップしている。キャリアプラン等についてグループディスカッションしている
順天堂大学	春季および夏季に当該地域にて研修・実習を実施する。
北里大学	サマーセミナーの実施等。
藤田保健衛生大学	1～3学年の夏休みのうち1週間、地域での実習を通じて地域医療における医師の役割を学び、包括的医療の実際を経験する。「地域特性と地域医療」をテーマに学習し、地域医療に対する意識付けを行う。
愛知医科大学	地域医療現場の実際を学ぶ実習（1学年次）、心身障害施設等での実習（2学年次）、老人保健施設等での実習（3学年次）、医師キャリア教育についての講義（4学年次）、学外での地域プライマリケアの実習（5学年次）
関西医科大学	1学年医師不足セミナー、2学年該当診療科の医学概論特論、各学年で該当診療科の実習
川崎医科大学	地域枠入学生を対象に地域医療を実践している県内外の医師による特別講義を年1回開催している。又、地域枠入学生を1～6までの縦割り小グループ（地域医療ゼミ）に編成し、勉強会などを行っている。

【奨学金と連動しない地域特別枠】

II-【1】-3. 奨学金と連動しない地域特別枠を設けていますか

	全国	国立	公立	私立
回答校	63	34	8	21
1 はい	26 41.3%	12 35.3%	6 75.0%	8 38.1%
2 いいえ	37 58.7%	22 64.7%	2 25.0%	13 61.9%

II-【1】-2 (1) いつから実施していますか

	全国	国立	公立	私立
回答校	59	32	8	19
2000年以前	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%
2001年	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
2002年	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
2003年	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
2004年	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
2005年	1 1.7%	1 3.1%	0 0.0%	0 0.0%
2006年	5 8.5%	5 15.6%	0 0.0%	0 0.0%
2007年	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%
2008年	9 15.3%	4 12.5%	5 62.5%	0 0.0%
2009年	21 35.6%	16 50.0%	2 25.0%	3 15.8%
2010年	12 20.3%	4 12.5%	1 12.5%	7 36.8%
2011年	2 3.4%	1 3.1%	0 0.0%	1 5.3%
2012年	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%
2013年	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%
2014年	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%
2015年	4 6.8%	1 3.1%	0 0.0%	3 15.8%
2016年	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

大学名	年度	補足事項
【国立】		
旭川医科大学	2008	推薦入試道北・道東特別選抜、第2年次後期編入学試験地域枠（平成20年度）、A0入試北海道特別選抜（平成21年度）
新潟大学	2008	
富山大学	2007	推薦入試「地域枠」
福井大学	2007	
浜松医科大学	2011	医学科第2年次編入学試験に地域枠を設置
三重大学	2006	
島根大学	2007	奨学金と連動しない特別枠には学士入学（編入学）3名が該当のため、「基本情報」（全入学者数）の数が異なります。なお、II-【1】-1 (1) 25名は連動しない枠の人数を含めています。
山口大学	2007	
徳島大学	2009	
佐賀大学	2013	
長崎大学	2010	
宮崎大学	2006	

大学名	年度	補足事項
【公立】		
札幌医科大学	2013	
福島県立医科大学	2004	
横浜市立大学	2008	2008年に20名、2009年にさらに5名
大阪市立大学	2010	
奈良県立医科大学	2008	
和歌山県立医科大学	2008	
【私立】		
獨協医科大学	2010	
東京慈恵会医科大学	2009	
昭和大学	2009	
金沢医科大学	2001	A0入試の中で実施
兵庫医科大学	2010	
川崎医科大学	2007	中国四国地域枠約15名 岡山県地域枠約5名
福岡大学	2010	
久留米大学	2010	

II-【1】-3 (2) 募集学生は何人ですか。直近の2年間についてお答えください

		全国	国立	公立	私立
平成27年度	回答校	25	11	6	8
	平均 (人)	17.9	17.2	29.3	10.3
	最大	75	55	75	20
	最小	3	3	10	5
平成28年度	回答校	25	11	6	8
	平均 (人)	17.9	17.2	29.3	10.3
	最大	75	55	75	20
	最小	3	3	10	5

(2) 募集学生数

大学名	H27	H28
【国立】		
旭川医科大学	55	55
新潟大学	5	5
富山大学	15	15
福井大学	5	5
浜松医科大学	0~5	0~5
三重大学	30	30
島根大学	3	3
山口大学	18	18
徳島大学	5	5
佐賀大学	23	23
長崎大学	20	20
宮崎大学	10	10
【公立】		
札幌医科大学	75	75
福島県立医科大学	21	21
横浜市立大学	25	25
大阪市立大学	10	10
奈良県立医科大学	25	25
和歌山県立医科大学	20	20
【私立】		
獨協医科大学	10	10
東京慈恵会医科大学	5	5
昭和大学	12	12
金沢医科大学	5	5
兵庫医科大学	5	5
川崎医科大学	20	20
福岡大学	10	10
久留米大学	15	15

大学名	補足
【国立】	
旭川医科大学	H27年度：A0入試北海道特別選抜(40人)、推薦入試道北・道東特別選抜(10人)、第2年次後期編入学試験(地域枠5人) H28年度：A0入試北海道特別選抜(40人)、推薦入試道北・道東特別選抜(10人)、第2年次編入学試験(地域枠5人)
浜松医科大学	H27年度：「一般枠と地域枠を合わせて5名」が定員(医学科第2年次編入学試験)
島根大学	編入学のため、「基本情報」(全入学者数)の数に含まれません。
長崎大学	学士編入学定員5人含む。
【私立】	
昭和大学	現役生のみ対象

II-【1】-3 (3) 志願学生は何人ですか

	全国	国立	公立	私立
平成27年度	25	12	5	8
回答校				
平均 (人)	148.0	81.9	172.4	231.8
最大	896	218	406	896
最小	8	8	30	45
平成28年度	25	12	5	8
回答校				
平均 (人)	140.1	80.4	149.4	223.8
最大	803	208	267	803
最小	10	10	26	46

(3) 志願学生数

大学名	H27	H28
【国立】		
旭川医科大学	218	208
新潟大学	85	108
富山大学	35	27
福井大学	76	72
浜松医科大学	23	27
三重大学	143	146
島根大学	8	10
山口大学	69	74
徳島大学	31	23
佐賀大学	52	56
長崎大学	217	188
宮崎大学	26	26
【公立】		
札幌医科大学	406	267
福島県立医科大学	30	26
大阪市立大学	147	128
奈良県立医科大学	197	206
和歌山県立医科大学	82	120
【私立】		
獨協医科大学	65	47
東京慈恵会医科大学	896	803
昭和大学	403	418
金沢医科大学	158	197
兵庫医科大学	45	46
川崎医科大学	112	96
福岡大学	79	100
久留米大学	96	83

大学名	補足
【国立】	
旭川医科大学	H27年度：A0入試北海道特別選抜（150人）、推薦入試道北・道東特別選抜（24人）、第2年次後期編入学試験（地域枠44人） H28年度：A0入試北海道特別選抜（139人）、推薦入試道北・道東特別選抜（22人）、第2年次編入学試験（地域枠47人）
新潟大学	推薦入試の一般枠と地域枠の併願可、さらに地域枠A,Bの併願可
福井大学	併願可
島根大学	編入学のため、「基本情報」（全入学者数）の数に含まれません。
徳島大学	奨学金連動と関係なく募集している。II-【1】-2 (3)と同じ。
長崎大学	H27年度：学士編入学志願者184人含む。 H28年度：学士編入学志願者159人含む。
宮崎大学	県にて1次選考済み
【公立】	
横浜市立大学	志願者が3つの募集枠に対して志望順位をつけて出願するため、この枠のみの志願者数は出せない。

Ⅱ-【1】-3(4) 地域特別枠合格者は何人ですか

平成27年度		全国	国立	公立	私立
地域特別枠合格者 (人)	回答校	26	12	6	8
	平均 (人)	17.7	15.7	30.2	11.5
	最大	83	56	83	20
	最小	1	1	10	5
地域特別枠合格者数 / 全合格者数 (%)	回答校	26	12	6	8
	平均 (%)	14.4	13.2	28.1	6.0
	最大	76	44	76	17
	最小	1	1	11	2

平成28年度		全国	国立	公立	私立
地域特別枠合格者 (人)	回答校	26	12	6	8
	平均 (人)	17.0	14.2	29.5	12.0
	最大	78	50	78	20
	最小	0	0	10	5
地域特別枠合格者数 / 全合格者数 (%)	回答校	26	12	6	8
	平均 (%)	13.7	11.9	27.6	6.1
	最大	71	39	71	17
	最小	0	0	9	2

Ⅱ-【1】-3(5) 最終的な地域特別枠入学者は何人ですか

平成27年度		全国	国立	公立	私立
地域特別枠入学者 (人)	回答校	26	12	6	8
	平均 (人)	17.1	15.6	30.2	9.6
	最大	83	55	83	20
	最小	1	1	10	2
地域特別枠入学者数 / 全入学者数 (%)	回答校	26	12	6	8
	平均 (%)	15.3	13.4	28.4	8.4
	最大	76	45	76	17
	最小	1	1	11	2

平成28年度		全国	国立	公立	私立
地域特別枠入学者 (人)	回答校	26	12	6	8
	平均 (人)	16.6	14.2	29.5	10.6
	最大	78	50	78	20
	最小	0	0	10	1
地域特別枠入学者数 / 全入学者数 (%)	回答校	26	12	6	8
	平均 (%)	14.9	12.1	27.9	9.2
	最大	71	41	71	17
	最小	0	0	9	1

(4) 地域特別枠合格者数

大学名	平成27年度 人数 (%)		平成28年度 人数 (%)	
【国立】				
旭川医科大学	56	(43.8)	50	(38.5)
新潟大学	5	(4.0)	5	(4.1)
富山大学	16	(15.1)	11	(10.0)
福井大学	5	(4.5)	5	(4.5)
浜松医科大学	1	(0.8)	1	(0.8)
三重大学	29	(23.0)	28	(22.4)
島根大学	1	(1.0)	2	(2.0)
山口大学	17	(14.4)	17	(14.5)
徳島大学	5	(4.0)	0	(0.0)
佐賀大学	23	(21.3)	23	(21.5)
長崎大学	20	(17.2)	21	(17.8)
宮崎大学	10	(9.0)	7	(6.3)
【公立】				
札幌医科大学	83	(75.5)	78	(70.9)
福島県立医科大学	15	(11.5)	12	(9.2)
横浜市立大学	25	(26.5)	25	(27.1)
大阪市立大学	10	(10.5)	10	(10.5)
奈良県立医科大学	25	(21.6)	25	(20.7)
和歌山県立医科大学	23	(23.0)	27	(27.0)
【私立】				
獨協医科大学	10	(4.5)	10	(4.3)
東京慈恵会医科大学	5	(3.2)	5	(3.0)
昭和大学	20	(5.4)	18	(5.6)
金沢医科大学	7	(2.8)	13	(5.2)
兵庫医科大学	5	(2.3)	5	(2.1)
川崎医科大学	20	(16.7)	20	(16.5)
福岡大学	10	(4.3)	10	(4.1)
久留米大学	15	(8.5)	15	(7.7)

(5) 地域特別枠入学者数

大学名	平成27年度 人数 (%)		平成28年度 人数 (%)	
【国立】				
旭川医科大学	55	(45.1)	50	(41.0)
新潟大学	5	(4.1)	5	(4.1)
富山大学	16	(15.2)	11	(10.5)
福井大学	5	(4.5)	5	(4.5)
浜松医科大学	1	(0.8)	1	(0.8)
三重大学	29	(23.2)	28	(22.4)
島根大学	1	(1.0)	2	(2.0)
山口大学	17	(14.5)	17	(14.5)
徳島大学	5	(4.0)	0	(0.0)
佐賀大学	23	(21.7)	23	(21.7)
長崎大学	20	(17.2)	21	(17.8)
宮崎大学	10	(9.0)	7	(6.3)
【公立】				
札幌医科大学	83	(75.5)	78	(70.9)
福島県立医科大学	15	(11.5)	12	(9.2)
横浜市立大学	25	(27.7)	25	(27.7)
大阪市立大学	10	(10.5)	10	(10.5)
奈良県立医科大学	25	(22.1)	25	(22.1)
和歌山県立医科大学	23	(23.0)	27	(27.0)
【私立】				
獨協医科大学	10	(8.3)	10	(8.3)
東京慈恵会医科大学	2	(1.8)	1	(0.9)
昭和大学	8	(6.8)	11	(9.3)
金沢医科大学	7	(6.7)	13	(12.4)
兵庫医科大学	5	(4.5)	5	(4.5)
川崎医科大学	20	(16.7)	20	(16.5)
福岡大学	10	(9.1)	10	(9.1)
久留米大学	15	(12.9)	15	(12.9)

II-[1]-3 (6) 合格者数が定員を満たさない場合はどのような方法をとりましたか

方法	方法
【国立】	【公立】
1 一般入試の前期日程の募集人員に加える（A0入試県特別選抜推薦入試地域特別選抜）	10 一般入試（地域特別枠以外）での募集人員に加える。
2 該当なし	11 一般入試前期日程（一般枠）で欠員分を募集する
3 不足分を後期日程の募集人員に加えている。	12 追加合格を行う
4 地域枠の定員が決まっていないため特に措置は行わない。	13 欠員は生じていない。
5 定員を満たさない場合はない	14 例年、定員は充足しています。
6 一般枠より補充する。	【私立】
7 満たしている	15 定員を満たさないことがないため回答できない
8 他の入試枠で定員を充足する。	16 欠員は選抜Ⅱ期の募集人員に加える。
9 前期日程の募集人員にその満たない人員を加える	17 特に行っていない
	18 一般入学試験から合格者を補填する。
	19 定員を満たしている

II-[1]-3 (7) 合格基準をどのようにしていますか

基準
【国立】
1 センター試験得点及び調査書評定平均値が本学の定める基準以上を出願資格とし、センター試験得点を資格試験として用いる入試と、個別試験（本学の定める基準以上）と合算する入試を実施している。
2 大学入試センター試験の成績、面接の評価、調査書など出願書類の内容により総合的に判定する。面接の評価によっては、大学入試センター試験の成績に関わらず不合格とすることがあります。
3 推薦書、調査書、志願理由書、小論文及び面接の結果を総合して選抜する。本学が課す大学入試センター試験の合計得点が配点（900点）の80%（720点）以上の者を合格者の対象とする。
4 第1次選考合格者に対し面接及び提出された推薦書、調査書、志願理由書による選考（面接は、医学科学生としての適正、能力等を評価）を行い、第1次選考結果と総合して合格者を決定する。
5 一般枠と同様としている。
6 学内基準により実施
7 基礎学力、地域医療機関等での体験活動、市町村長等による面接等の資料を参考とした個人面接による地域医療への理解と使命感の強さ
8 奨学金と連動した地域特別枠とそれ以外で違いはない
9 推薦入試の合格者のうちから地域枠学生を選出しているため、地域枠の合格基準は設けてはいない
10 センター試験の成績、小論文、面接、高等学校長の推薦書、調査書等を総合して判断する
11 大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が原則として80%に満たない学生は対象しない。
12 大学入試センター試験及び個別学力検査等の総合点により順位付けを行い、可否を決定する
【公立】
13 大学入試センター試験成績により選抜の対象者を判定し、第二段階選抜にて学力試験、面接試験を実施し、合格者を決定する。
15 一般入試に準じている
16 総合順位の高い順に、合格者を選抜している。
17 成績上位順
18 大学入試センター試験の成績により第一段階選抜を行った後、面接により人物評価を行う。
【私立】
20 一般入試と同じ
21 学力試験、小論文、面接、調査書の総合点による合格基準を設けている。
22 書類選考、基礎学力テスト、面接及び提出された調査書等の出願書類を総合的に判定
23 基礎学力検査、小論文、面接、推薦書、自己推薦書、調査書により総合的に判定する。
24 第一次選考（総合適性試験）、第二次選考（面接）のほか、小論文、出願書類（調査書・履歴書等）全般を総合的に判断して合格者を決定する
25 従来から実施してきたA方式推薦の選抜方法に準拠しているが、集団面接による評価点を大きくしており、地域医療への意志を重点的に判定している。
26 筆記試験、小論文、面接、調査書、推薦書による総合評価

II-[1]-3 (8) 奨学金と連動しない地域特別枠を設置した動機は何ですか

大学名	動機
【国立】	
旭川医科大学	北海道内で活躍する医師を、より多く確保するため。
新潟大学	新潟県の高専を卒業した優秀な学生を入学させて地域医療に貢献する医師を確保したい。
富山大学	富山県等より要望があり、富山県内の医師不足への対応として富山県内高専卒業予定者を対象に本選抜を設置した。
福井大学	地方自治体からの要望
浜松医科大学	編入学生からも地域医療に貢献する人材を育成したいと考えたため。
三重大学	地方自治体、高校などからの要望
島根大学	県、関係市町村からの強い要望
山口大学	地域医療に貢献できる人材の確保のため
徳島大学	自治体からの要望
佐賀大学	地域との関係を重視し、県内の学生を教育することにより、将来、佐賀県の医療に貢献する人材を育成するため
長崎大学	卒業生の地域への定着率向上のため。
宮崎大学	地方自治体からの要望
【公立】	
札幌医科大学	北海道からの要望。
福島県立医科大学	福島県内に勤務する医師を確保するため
横浜国立大学	国の施策に基づいた、地方自治体からの要望
大阪市立大学	地域の医師不足解消のため
奈良県立医科大学	地域医療充実のため
和歌山県立医科大学	県内の基幹病院で県民医療の中核となるべき医師を養成するため。
【私立】	
獨協医科大学	国の医師確保対策のひとつとしての医学部定員増が図られたことにより
東京慈恵会医科大学	国による平成21年度医学部入学定員の増員計画による
昭和大学	①地方の医師不足解消のため。 ②1年次の全寮制生活の中で、様々な地域の出身者が交わることで豊かな人間性を育む教育を行いたいと考えるため。
金沢医科大学	A0入試の出願要件の一つに地域枠を設定した 出願要件 (1) 本学卒業及び研修後、地域医療の発展、向上に貢献する意志の強固な者、(2) 本学卒業及び大学院修了後、本学で教育、研究、診療に従事し、本学の発展に貢献する意欲の旺盛な者、(3) 本学卒業及び研修後、発展途上国への医療援助など、国際医療援助活動に貢献する意欲の旺盛な者、(4) 上記以外の者で、出願動機が本学建学の精神に合致している者
兵庫医科大学	国の要請（医学部定員増）による。
川崎医科大学	医師不足が深刻な地域医療の診療科を担う医師を養成し、当該診療科医師の偏在を是正する
福岡大学	福岡県が奨学金制度は実施しない旨回答したため。
久留米大学	文部科学省からの医師不足による特例措置による増員

II-【1】-3 (9) 奨学金と連動しない地域特別枠設置の「目的」と「理念」を設定していますか

	全国	国立	公立	私立
回答校	26	12	6	8
1 はい	18 69.2%	9 75.0%	2 33.3%	7 87.5%
2 検討中	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
3 いいえ	8 30.8%	3 25.0%	4 66.7%	1 12.5%

大学名 具体的内容

【国立】

旭川医科大学	北海道内で活躍する医師を、より多く確保するため。
新潟大学	将来、新潟県内の地域医療を担おうとする気概と情熱に富んだ医学生に対し、奨学金を貸与し、就学支援を行っている。
福井大学	福井大学医学部では、①人間形成を基盤に、生命尊重を第一義とする医の倫理を体得する ②高度な医学・看護学知識を修得した、信頼し得る医療人および研究者を育成する ③医学・看護学の進展、ならびに地域医療の向上に寄与することを教育理念とし、これまでに多くの優れた医療人および教育・研究者を福井県はもとより全国に輩出し、広く社会に貢献しています。 医学科では、①幅広い医学知識を持ち質の高い臨床能力を身につけ ②コミュニケーション能力に優れ、高い倫理観を持って患者中心の医療を实践でき ③日々進歩する医学知識・医療技術を生涯にわたり学ぶ習慣を身につけ、根拠に立脚した医療を实践できる医療人を育成します。そして、④世界をリードする生命科学研究者や医学教育者となりうる人や ⑤個人と地域・国際社会の健康増進と疾病の予防・根絶に寄与し、国際的な視野でまたは地域に根ざした活動ができる人を育成します。
三重大学	医師不足の著しい市町の優秀な学生を選抜し、将来その地元に帰り地域医療を担う
島根大学	将来、本学医学部附属病院を含め島根県下の医療機関で地域の医療を担おうとする熱意と使命感をもった者を入学させ、地域医療を担う医師の育成を図る。
山口大学	地域医療に貢献できる人材の育成のため
佐賀大学	県内の医師不足の解消、良き医療人の育成と地域包括医療の向上
長崎大学	地域（離島含む）医療に貢献できる医療人を育成する。
宮崎大学	明日の宮崎県の医療を担うという強い意志を有する地元の生徒を求めため

【公立】

札幌医科大学	将来医師として道内の医師が不足する地域に所在する公的医療機関に勤務しようとする者に対し、その修学又は研修に必要な資金を貸し付けることにより、地域医療を担う医師の養成及び確保を図り、もって道内における医療の提供体制の充実に資することを目的とする。
横浜国立大学	顕在化してきた医師不足に対し、地域医療機関における医師確保の安定化に寄与するため

【私立】

獨協医科大学	今後更なる地域医療への貢献と医療人の育成に努めるべく、本学の隣接県を対象地域に、将来、当該地域で医療に貢献したいとの「熱い思い」を持った人材を求めている。
東京慈恵会医科大学	地域医療に貢献すること
昭和大学	目的：医師不足、地域や診療科の偏在をなくすため。 理念：国民一人一人の健康を守るために尽力するという本学の理念のもとに目的を掲げ、地域からの受験者を支援する。
金沢医科大学	本学では「倫理に徹した人間性豊かな良医の育成」を建学の精神に掲げ、良医として不可欠な「知識」「技術」「態度」を身につけた医師の育成を目指している。そこで、従来の学力を中心とした入学試験では評価が困難であった学習意欲、使命感、人間性に評価の重点を置いたアドミッションオフィス入試（AO入試）を実施し、建学の精神に沿った人間性豊かな活力のある人材を求めており、そのための出願要件の一つとして地域枠を設定
兵庫医科大学	兵庫県の医療充実に貢献できる医師を養成する。
川崎医科大学	本学は、中国・四国地域の唯一の私立大学として、本学の建学の理念に賛同し、中国・四国地域での全人的医療を志す有為な人材を求める
福岡大学	九州・山口各県内の離島・僻地医療や地域医療に貢献したいという強い意志を持ち在学中および卒業後において本学が定める「離島・僻地や地域医療に貢献するための実習、研修および医療従事プログラム」への参加を確約できるもの

II-【1】-3 (10) 卒後、地域医療従事義務を設けていますか

	全国	国立	公立	私立
回答校	26	12	6	8
1 はい	14 53.8%	6 50.0%	4 66.7%	4 50.0%
2 いいえ	12 46.2%	6 50.0%	2 33.3%	4 50.0%

1) 義務年限は何年ですか

※「義務年限なし」:3校

	全国	国立	公立	私立
回答校	11	4	4	3
平均 (年)	6.5	6.8	7.5	4.7
最大	12	12	9	6
最小	2	2	7	2

大学名 年限 補足事項

【国立】

旭川医科大学		年限は特に定めていない。
三重大学	6～10年	三重県医師修学資金の規定による
島根大学	12年	卒業後、島根大学医学部附属病院を含む島根県内の病院の臨床研修プログラムにより初期及び後期の臨床研修を受ける。
佐賀大学	2年	
長崎大学	3年	
宮崎大学		特に設けていない

【公立】

札幌医科大学	7年	
横浜市立大学	7年	
大阪市立大学	7年	初期臨床研修先については指定なし。
和歌山県立医科大学	9年	

【私立】

金沢医科大学		指定していない
川崎医科大学	6年	「初期並びに後期研修」という期限で表現している
福岡大学	2年	
久留米大学	6年	2年間の臨床研修含む

2) 医療従事を行う地域または医療機関を指定していますか

	全国	国立	公立	私立
回答校	14	6	4	4
1 はい	11 78.6%	4 66.7%	4 100.0%	3 75.0%
2 いいえ	3 21.4%	2 33.3%	0 0.0%	1 25.0%

大学名 具体的内容

【国立】

旭川医科大学	本学病院及び関連病院
三重大学	三重県医師修学資金のプログラムによる
佐賀大学	初期研修は、県内の基幹型臨床研修病院
長崎大学	本学病院及び本学の指定病院での従事

【公立】

札幌医科大学	本学医学部又は附属病院の各診療科に所属し、本学及び道内の医療機関において医学・医療に従事する。
横浜市立大学	本学附属病院を含めた神奈川県内の病院
大阪市立大学	一般枠の学生と同様に、マッチングによって勤務先を決定することとしている。
和歌山県立医科大学	県と協議の上、決定している。

【私立】

川崎医科大学	本学の附属病院又は総合医療センター、若しくは本学が指定する臨床研修指定病院
福岡大学	九州・山口各県内の離島・僻地医療および地域医療への参加
久留米大学	福岡県および周辺地域の臨床研修病院（久留米大学病院を含む）において臨床研修（2年）を行い、臨床研修終了後、本学が指定する医療機関（久留米大学病院を含む）において4年間勤務すること

3) 特別なカリキュラムは準備されていますか

	全国	国立	公立	私立
回答校	14	6	4	4
1 はい	4 28.6%	3 50.0%	0 0.0%	1 25.0%
2 いいえ	10 71.4%	3 50.0%	4 100.0%	3 75.0%

大学名	具体的内容
【国立】	
佐賀大学	地域枠入学生特別プログラム
長崎大学	地域医療ゼミ
宮崎大学	へき地医療機関での実習、「地域社会と医療」の受講
【私立】	
川崎医科大学	地域枠入学生を対象に地域医療を実践している県内外の医師による特別講義を年1回開催している。又、地域枠入学生を1～6までの縦割り小グループ（地域医療ゼミ）に編成し、勉強会などを行っている。

II-[2] 地域医療従事を義務付けた奨学金制度と連動した入学定員増について

II-[2]-1. 平成22年6月閣議で決定された医師養成増加の方針(新成長戦略)に基づく定員増を予定していますか

	全国	国立	公立	私立
回答校	63	34	8	21
1 はい	8 12.7%	4 11.8%	0 0.0%	4 19.0%
2 検討中	5 7.9%	1 2.9%	2 25.0%	2 9.5%
3 いいえ	50 79.4%	29 85.3%	6 75.0%	15 71.4%

「はい」の場合、その人数

	全国	国立	公立	私立
回答校	8	4	0	4
平均 (人)	6.0	3.8	0.0	8.3
最大	16	6	0	16
最小	2	2	0	5

大学名	人数	補足事項
【国立】		
群馬大学	6人	平成23年度～平成31年度実施
東京医科歯科大学	4人	茨城県2名、長野県2名
新潟大学	2人	既に実施済み。
愛媛大学	3人	申請が認可され、平成27年度入試より定員が3人増加した。

大学名	人数	補足事項
【私立】		
岩手医科大学	5人	実施済み
順天堂大学	7人	埼玉県(2名)、静岡県(5名)
関西医科大学	5人	平成27年度から大阪府地域枠として増員済み
川崎医科大学	16人	静岡県地域枠10名 長崎県地域枠6名 認可済

II-【3】地域特別枠入学者の入学後の状況について

II-【3】-1. 入学後の奨学金辞退者はいますか

	全国	国立	公立	私立
回答校	60	32	8	20
1 はい	15 25.0%	7 21.9%	2 25.0%	6 30.0%
2 いいえ	45 75.0%	25 78.1%	6 75.0%	14 70.0%

「はい」の場合、その人数

	全国	国立	公立	私立
回答校	15	7	2	6
平均 (人)	3.9	2.3	1.0	6.7
最大	19	5	1	19
最小	1	1	1	1

人数	補足事項
【国立】	
1	1人
2	2人
3	4人 高度専門科に進む意思が強く、卒後直ぐから専門医取得を目指したいという希望のため
4	2人 卒業後の辞退者は含まない
5	1人 進路変更
6	1人
7	5人 ○○県4名、○○県1名
【公立】	
8	1人
9	1人
【私立】	
10	1人
11	3人 ○○県地域枠3名
12	3人
13	19人 1学年から6学年合計
14	11人
15	3人

II-[3]-2. 地域特別枠入学者について問題点はありますか（例：制度や学生の学力レベル、モチベーションなど）

奨学金と連動している場合

問題点
【国立】
1 一般入学者との差異はない。
2 学生のレベルは高いので問題はない
3 学力レベルは変わらない
4 学力並びに国試の合格率等について現時点では特段の問題点は見受けられない。
5 平成26年度卒業生において、卒後臨床研修を〇〇県外で行う者が1名いた。
6 入試時点で学力が年々低下傾向にある。
7 今のところ特に問題はない。学力レベルも他の入試と比較して遜色ない。
8 一般学生と同じ環境で学生生活を過ごす中での地域医療に対するモチベーション、卒業後の進路に対する意識の低下など。
9 地域枠に一定の学力レベルの受験生の応募がない場合の対応、地域枠入学者に対する明確なキャリアビジョンの提示。地域枠入学者のモチベーション維持、地域医療に対する意識不足。
10 学力等特に問題は無い。
11 特に問題なし
12 現時点では生じていない。
13 在学中に奨学金を返済する者がいる
14 ・基礎医学（特に病理、法医、公衆衛生）の地域医療に深く関与しているが、地域枠特別入学生の卒業後の選択肢に想定されていない ・専門医取得にどの程度影響があるのかわからない（差し障りがある可能性も否定できない）
15 一部の学生において、一般入試の入学者に比べて、入学後の成績が若干低いと思われる。

問題点
16 学生の地域枠に対する意識・自覚の希薄
17 A0入試地域枠入学者に学力やモチベーションの問題はない
18 一浪生を出願可としていることから、浪人生の受験枠として捉えられている傾向がある
19 地域枠入学生が増えた分、幾分学生の学力レベルの低下がみられる。
20 特になし。地域医療への貢献に強い関心を持った学生が多い。学力レベルについては現在解析中。
【公立】
21 キャリア形成と義務年限との関係。
22 留年や休学時に必要以上に不安感が高まり、精神的に追い詰められる。
23 モチベーション、学力レベル
【私立】
24 学生の学力レベルの維持
25 留年しないようにサポート体制を整備している
26 学力の維持
27 義務履行の診療科が限られている。
28 現在の入学者の修学態度、学業成績等特に問題点はあがっていない。
29 学生の学力及びモチベーションの維持・向上
30 制度についての疑問等

奨学金と連動していない場合

問題点
【国立】
1 「卒後の地域医療」貢献義務について法的な強制力がない。
2 導入後2年目であるので、入学者の成績等を追跡し、検討する。
3 平成27年度卒業生において、卒後臨床研修を〇〇県外で行う者が3名いた。
4 地元への就職に必ずしも結びつかないことが懸念される。
5 学力等特に問題は無い。
6 個人的な理由により他県に出ってしまう場合がある
【公立】
7 卒業後に義務年限を果たすモチベーションの維持。
8 自分の将来進む診療科の決定について、不安感を抱いている。
9 学力レベルの低下が懸念される。
10 地域貢献意欲の醸成
11 モチベーションが低下傾向にある。
【私立】
12 現時点で問題はない
13 地域による学力の格差があるため競争率が均一ではない。
14 卒業後の義務履行を強制できないこと

II-[4] 卒業後の義務履行について

II-[4]-1. 地域特別枠入学者の「卒後の地域医療勤務」義務の履行状況についてご記入ください

奨学金と連動している場合

具体的内容	
【国立】	
1	現時点では、問題なく義務を履行している
2	現在、不履行の卒業生はいない。
3	対象卒業生39名のうち21名義務履行中、猶予中12名、返還者5名、その他1名
4	平成24年度から平成27年度までに22名が卒業し、義務を履行している。
5	平成26年度卒業生において、卒後臨床研修を〇〇県外で行う者が1名いた。
6	医師免許取得後、直ちに条例で定める病院で臨床研修に従事している。
7	問題なく研修している
8	対象入学者が卒業年度に至っていない。
9	全員が履行している。
10	全員が地域医療従事義務を履行中
11	一定期間、県が指定する医療機関に従事
12	義務を履行中である。
13	ほとんどが県内に就職している
14	1名を除き、義務を履行している。
15	平成26年3月以降、合計39名が卒業しうち38名(特殊事情による離脱1名あり)が県内で卒後初期研修を開始し、初期研修を修了した者はすべて義務履行の勤務に従事している。
16	1期生が初期研修の2年目を迎えている。
17	義務を履行している
18	大多数は〇〇県内の病院にて臨床研修を行い、義務を履行している
19	大部分が県内に残っている
20	現在のところ履行されている。
21	1名が義務の履行をせずに奨学金を返還した
22	1名、義務の履行を放棄した者がいる。
23	卒後猶予期間があり、地域枠卒業生27人中24名が県内医療機関に勤務した。
24	現在、初期臨床研修段階までの卒業生しかいない。
25	問題なく履行されている
【公立】	
26	義務の発生している卒業生はまだいない。
27	履行している。
28	〇〇県内で臨床研修に従事している
29	若干の離反者が出ている
30	平成27年度卒業生2名、平成28年度卒業生3名 初期研修を行っている。
31	1名を除き履行している。(1名:卒業後辞退し、奨学金を返還)
32	現在初期臨床研修1年目として勤務している。
33	履行されている
【私立】	
34	まだ卒業生は出ていない
35	未だ卒業生が出ていない。
36	制度導入後、まだ卒業実績がない
37	卒業生が出ていません。(平成30年3月卒業予定)
38	特別枠は過去2年卒業生を輩出しているが、3名が義務を履行していない
39	県が実施している制度のため非公表
40	指定校・指定地域推薦入試で入学しH27年度に卒業した奨学金貸与者1名は、〇〇県内の指定医療機関で臨床研修中
41	まだ今春の卒業生しかいないので、初期臨床研修中である。
42	これまでの修学資金貸与者114名のうち制度離脱者は11名
43	卒業生は出ていない
44	良好
45	まだ該当者なし。
46	地域医療義務の履行を止めたものはいない
47	全て履行されている
48	2010年度より地域特別枠を設けたことから、現在、義務履行対象者がいない。
49	まだ在学中であり、卒業生を出していない

奨学金と連動していない場合

具体的内容	
【国立】	
1	本学が指定する研修指定病院に就職している。
2	履行している
3	地域特別枠入学者について、「卒後の地域医療勤務」を義務付けていない。
4	特に問題なし
5	本学医学部附属病院の臨床研修プログラムにより卒後臨床研修を受け、その後県内の地域医療に従事する。
6	「卒後の地域医療勤務」義務を設けていない
7	義務はないが約半数は県内で従事している
8	卒業生が出ていない
9	臨床研修については、ほぼ10割の学生が義務履行。
【公立】	
10	まだ卒業生を出していない。
11	7～8割程度履行している。
12	現在初期臨床研修1年目として勤務している。
13	義務はない
14	履行している。
【私立】	
15	全て履行されている
16	義務がないため回答できない
17	卒業後の地域医療勤務は義務付けていない。
18	・指定校・指定地域推薦入試で入学しH27年度に卒業した2名とも〇〇県内病院で臨床研修中 ・A0入試地域枠で入学しH27年度に卒業した6名の内、〇〇県内病院に3名、出身地（〇〇県外）の病院2名、出身地以外の病院に1名が臨床研修中
19	まだ卒業生は出ていない
20	卒後の地域医療勤務義務なし
21	全員が義務を履行している。
22	義務履行対象者がまだいない
23	本学附属病院での臨床研修義務が履行されていないケースがある

II-[5] 地域特別枠入学者の卒後の動向について

II-[5]-1. 地域特別枠入学者に「卒後の地域医療勤務」を義務付けることに強制力がありますか

	全国	国立	公立	私立
回答校	62	34	8	20
1 はい	36 58.1%	17 50.0%	5 62.5%	14 70.0%
2 いいえ	26 41.9%	17 50.0%	3 37.5%	6 30.0%

どのように義務付けているか

大学名	具体的内容
【国立】	
弘前大学	入学要件としている
山形大学	2年間の医師臨床研修を山形大学附属病院で行った後、山形大学医学部附属病院又は山形県内の公的病院を含む山形関連病院会に加盟する医療機関において、6年間、医学・医療に従事すること。
筑波大学	一定期間、医師不足地域に勤務すること
群馬大学	奨学金貸与期間の3分の5に相当する期間を群馬県内の特定病院において、卒後臨床研修及び診療業務に従事する。
富山大学	地域医療に必要な診療科（小児科、小児外科、産科、麻酔科、救急科、総合診療科）で、9年間診療に従事した場合、奨学金の返還を免除する。
金沢大学	義務に従わない場合、県に修学資金を原則一括返済しなければならない。
福井大学	一定期間、地域の病院での勤務を義務づけている。
岐阜大学	厳密に言えば法的強制力はないが、地域枠合格の条件として岐阜県医学生第1種修学資金を受給し、返還免除条件にあるその後の義務年限を確実に履行することを、高校在学中の説明会から繰り返し周知徹底しているため、ドロップアウトは人道的に許されないとの雰囲気づくりはしている。
鳥取大学	対象者のうち地域枠、臨時養成枠については返還免除要件に知事が定める県内病院等において勤務することを要件としているが、勤務先は当該者に委ねられている。一方、特別養成枠については卒業後県職員として県知事の指定する医療機関にて勤務することとなっている。
島根大学	一定期間、県が指定する医療機関に従事する。
徳島大学	臨床研修期間も含め、貸与期間の1.5倍（「業務従事期間」という。）に相当する期間を県内の公的医療機関等で勤務した場合、修学資金の返還が免除
香川大学	奨学金受給期間の1.5倍（9年間）指定医療機関に勤務しないと返還免除の措置が受けられない
愛媛大学	勤務年数が定められた期間に達しない場合は、奨学金の返還が必要
長崎大学	地方自治体からの修学資金貸与が出願要件である入学者のみ強制力あり。
熊本大学	誓約書の提出を義務付けている。
鹿児島大学	もし義務を果たさない場合は、年利10%の利子を加えた奨学金の一括全額返還を求められる。
【公立】	
札幌医科大学	奨学金と連動した者については、出願時に所定の期間「地域医療勤務」に従事する旨の確約書を提出している。なお、確約書どおり履行した場合、奨学金の返還が全額免除される。
横浜国立大学	卒業後は初期研修終了後、7年間または9年間の専門医研修及び一貫プログラム教育を受けることとしている。
大阪市立大学	入学時に誓約書を書かせている。
奈良県立医科大学	条例に規定
【私立】	
岩手医科大学	義務不履行の場合、奨学金返還等の措置を行う
獨協医科大学	奨学金と連動させることにより義務付けている。
東邦大学	義務年限に満たない場合は一括返済することとなっている
東京慈恵会医科大学	東京都枠の場合は指定する領域で一定期間従事する。しない場合は奨学金の全額返金となる
順天堂大学	都・県が指定する条件（義務年限や研修病院・診療科の指定）等
杏林大学	奨学金の返還免除がある
聖マリアンナ医科大学	神奈川県地域医療医師修学資金貸付条例に基づき勤務することになる。
東海大学	神奈川県特別修学資金申請時に、卒業後9年間の就業義務に関し、誓約書を記載している。
藤田保健衛生大学	入学時に、修学資金貸与規程を確認したこと及び遵守することを誓約する誓約書を提出。
愛知医科大学	「卒後の地域医療勤務」を確約できることを出願資格の一つとしており、また、その義務を果たす約束のもと愛知県及び本学から修学資金を貸与する制度としている。
関西医科大学	入学時の誓約書に基づいて強制する
兵庫医科大学	大学を卒業後9年間、県の指定する公立病院等に勤務した場合には、貸与を受けた修学資金の返還債務を免除する旨の修学資金貸与契約を兵庫医科大学との間で締結している。

大学名	具体的内容
川崎医科大学	<p>【奨学金連動なし】 初期・後期研修後、中国・四国地域で医療に貢献することを保護者及び推薦者が同意のうえ確約することを義務付けている</p> <p>【奨学金連動あり】一般入試（静岡県地域枠）については、初期臨床研修修了後、静岡県医学修学研修資金の貸与を受けた期間の1.5倍の期間、静岡県が個別に指定する静岡県内の公的医療機関等において医師として医療に従事することを確約することを義務付けている。</p> <p>一般入試（長崎県地域枠）については、本学卒業後、長崎県医学修学資金の貸与を受けた期間の1.5倍に相当する期間（うち、離島・へき地に2分の1以上の期間）、長崎県病院企業団等において医師として医療に従事することを確約することを義務付けている。</p>

II-【5】-2. 地域特別枠入学者の「卒後の地域医療勤務」について、その動向をフォローアップしていますか

	全国	国立	公立	私立
回答校	54	31	8	15
1 はい	34 63.0%	24 77.4%	5 62.5%	5 33.3%
2 いいえ	20 37.0%	7 22.6%	3 37.5%	10 66.7%

どのような点についてフォローアップしているのか

大学名	具体的内容
【国立】	
旭川医科大学	卒業後の就職先についてフォローアップを行っている。
秋田大学	「あきた医師総合支援センター」で、それぞれの動向を把握している。
筑波大学	勤務地・病院・診療科
山梨大学	進路調査により卒後臨床研修病院を把握している。
新潟大学	科の希望を聞きながら、勤務病院の調整を図っている。
信州大学	入学者のうち奨学金貸与者との面談による配属病院の決定
金沢大学	石川県枠の場合は、初期研修は金沢大学附属病院となっている。
岐阜大学	岐阜県医師育成・確保コンソーシアムを組織し、キャリア記録・ルール順守・キャリアアップのフォローをしている。
浜松医科大学	卒後の初期研修先
三重大学	研修指定病院に勤務
神戸大学	平成26年4月に設置された医学教育学分野地域医療教育学部門が地域枠学生の相談やアドバイスを行っている。
鳥取大学	個人毎の管理台帳を作成し、毎年1回調査を行い、希望者には個別面談を実施している。
島根大学	卒後臨床研修センター及び地域医療支援学講座によるフォローアップを実施
岡山大学	初期臨床研修段階までの卒業生しかいないため現時点では実行に至っていないが、様々な点についてフォローアップしていく予定である。
広島大学	大学、県医師会、県、地域医療支援センター、市町等で構成されるキャリア支援委員会において、地域枠生等の配置を調整している。
山口大学	奨学金と連動している者については、キャリアアップセミナー開催や担当教員による面談を行い、キャリア形成面においてフォローしている。
徳島大学	自治体が実施しているので把握していない

大学名	具体的内容
香川大学	大学、県、地域の医療機関等が組織する香川県医師育成支援委員会での本人のキャリア支援についてフォローしている
高知大学	県が勤務先や診療科の管理・フォローアップを行い、運営会議で大学の地域医療センターと共有している。
佐賀大学	初期研修及び専門研修の医療機関、診療科
長崎大学	地域枠同窓会にてフォローアップを行っている。
大分大学	全員が地域医療学センターに所属し、センターがキャリア形成を支援しています
鹿児島大学	研修プログラムを大学で提示し、それに従って研修を行っている。
【公立】	
札幌医科大学	奨学金と連動した地域特別枠入学者のうち、卒後、本学医学部各講座に所属した者については、地域勤務の配置先を決定する際に、本学、本人及び道庁の3者で協議・調整している。
名古屋市立大学	研修先病院、診療科等
京都府立医科大学	勤務地等についてのマッチング
奈良県立医科大学	県配置センターでフォローアップしている

【私立】	
聖マリアンナ医科大学	後期研修病院等の情報提供及びキャリア形成支援を行う予定である。
関西医科大学	入学から卒業までの成績や卒業後の進路を把握している
兵庫医科大学	大学卒業後9年間の勤務義務期間については、兵庫県と連絡を取り地域特別枠入学者の勤務先の動向について確認を行っている。また、年1回程度、地域特別枠入学者OBに入学頂き、現状を教示頂くことによる在校生との交流会の場を設けている。
久留米大学	臨床研修先を把握している

II-[5]-3. 地域特別枠入学者の「卒後の地域医療勤務」は、地域社会に貢献しているとお考えですか

	全国		国立		公立		私立	
回答校	53		31		8		14	
1 はい	48	90.6%	29	93.5%	8	100.0%	11	78.6%
2 いいえ	5	9.4%	2	6.5%	0	0.0%	3	21.4%

どのようなアウトカムを地域にもたらしているか

大学名	具体的内容
【国立】	
旭川医科大学	北海道内で活躍する医師を輩出することで、十分な臨床・研修能力を身につけた医師が地域医療の中核を担うことができる。
弘前大学	県内医師の増加
秋田大学	県内に一定数の医師が残り、各地域の医療に従事している。
群馬大学	医師数として増えている
山梨大学	医師不足解消への貢献
新潟大学	医師不足の病院において、勤務してもらっている。
信州大学	県出身者が勤務医として勤務していること
金沢大学	医師不足地域に医師を配置することができる。
福井大学	一定の医師数を確保できる。
岐阜大学	当県の場合、医師の絶対数不足と偏在が顕著で、県内で勤務する医師が今後相当数増加し、かつ偏在についても指定勤務がそれを緩和することに有効であることに異論がない。
浜松医科大学	地域特別枠入学者が県内で卒後の初期研修を行っている。
名古屋大学	医師の確保が困難な地域に医師が配置され、地域医療環境の向上につながっている
三重大学	勤務先の病院長から高い評価を得ている
神戸大学	医師不足に悩む地域にとって若い医師が派遣されることは大きな地域貢献となると考えられる。
鳥取大学	卒業3年目以降の入局者を地域の医療機関に派遣できる仕組みが機能する目処がたってきた。
島根大学	卒業生が地域の医療機関で勤務をし、地域医療の活性化をもたらしている。
岡山大学	初期臨床研修段階までの卒業生しかいないため現時点では不明であるが、地域医療勤務により少しでも医師の偏在等の緩和に寄与することができる。
広島大学	一定期間、中山間地域勤務を義務付けており、医師不足地域の医療に貢献すると思われる。
山口大学	卒業生はまだ少数ではあるが、修学資金の貸与の有無に関わらず、山口県内で働く可能性が高いように感じる
香川大学	本県の地域医療を支えていこうとする意欲に富んだ医療人育成に貢献している
高知大学	地域で働く若手医師の増加につながっている。
佐賀大学	佐賀県推薦入試の1期生は、現在県内の不足する診療科において後期研修中。専門医を取得し、その後は県が指定する医療機関の指定診療科において医療に従事する予定。
長崎大学	離島・へき地の医師不足解消に貢献する。
大分大学	数名が地域勤務を始めたばかりですが、地域中核病院の人材増加に伴う病院機能の向上がみられます
宮崎大学	地域特別枠入学者全員は宮崎県から奨学金を貸与しており、卒業後、貸与期間の2倍の期間中に宮崎県が指定する県内僻地等や産科・小児科等の医師不足領域での勤務が奨学金返済免除要件となっている。現在、地域特別枠入学者の一部はこの制度に基づいて県が指定する僻地病院や医師不足診療科で勤務をしており、このことは地域社会に一定の貢献をしていると考えられる。しかし一方で、貸与要件を履行していない者も存在し、本枠入学者の地域貢献の真偽については、より長期的な全数調査に基づいて慎重に判断されるべきと考える。
鹿児島大学	今後地域社会へのアウトカムが明らかになると考えている。
琉球大学	将来医師の地域偏在軽減に寄与することが期待されると思います。
【公立】	
札幌医科大学	奨学金と連動した地域特別枠入学者の1期生7人が今年度から「地域医療勤務」を開始したが、将来的に常時数十人がこの制度で地域の医療機関に勤務することになるため、地域の医師不足の解消につながると考える。
福島県立医科大学	医師不足の解消
横浜市立大学	産科、小児科等の診療科の人手不足解消に貢献している。
名古屋市立大学	初期研修2年目の医師として地域における救急医療の一員として活躍している。
京都府立医科大学	地域の実情を知り、地域医療の貢献への熱意を持った医師を育成している。
大阪市立大学	地域における医師不足の解消
奈良県立医科大学	地域医療の充実
和歌山県立医科大学	地域偏在を是正することに貢献している。

大学名	具体的内容
【私立】	
獨協医科大学	医師不足の解消の一助
東京医科大学	地域医療に貢献できる人材の投入
東京慈恵会医科大学	地域医療の充実
順天堂大学	地域特別枠入学者が卒業確実に都・県の病院で医療勤務を行うことで医師数確保とともに医療を通じて地域社会に貢献している。
聖マリアンナ医科大学	神奈川県内の地域医療関連診療科の医師充足率を高めると考える。
関西医科大学	地域医療機関と連携した医師供給の役割を担っている
兵庫医科大学	県養成医を医師不足の深刻な地域や特定の診療科に派遣することにより、地域医療の確保が図られている。
久留米大学	地域の医療情勢を理解し、求められる医療を提供する

II-【5】-4. 地域特別枠入学者の「卒業後の地域医療勤務」の実態について、医学教育にフィードバックしていますか

	全国	国立	公立	私立
回答校	54	31	8	15
1 はい	15 27.8%	10 32.3%	2 25.0%	3 20.0%
2 いいえ	39 72.2%	21 67.7%	6 75.0%	12 80.0%

どのような内容をどのようにフィードバックしているか

大学名	具体的内容
【国立】	
旭川医科大学	医学科第1・2学年を対象としたグループ担任制度を導入し、グループ担任教員が各グループの学生に対し、卒業後の臨床研修や将来の地域医療貢献イメージの具体化に向けたアドバイス等を行うとともに、第1～3学年の各学年に1名の臨床教授を「アドバイザー教員」として配置し、学年担当教員や学生のキャリアプラン支援委員会と連携を取りながら、学生のキャリアプランについて指導・助言を行っている。
新潟大学	まだ卒業後の地域医療勤務の段階にはいっていないが、地域医療勤務に至ったのちには、医学生に授業で話してもらうなど検討している。
岐阜大学	1年生の地域医療関係の講義および高校生の公開授業で、修学資金受給者の卒業後の履行実態をフィードバックするとともに、岐阜県医師会、岐阜県病院協会、市町村、岐阜県地域医療対策協議会、岐阜県医師育成・確保コンソーシアム、大学フォーラムなどのさまざまな機会に、学生のみならず県内医療従事者、地域住民、自治体に向けて繰り返しフィードバックしている。
三重大学	卒業生が少ないため、今後検討
島根大学	卒業臨床研修センター及び地域医療支援学講座の教員が、医学科の地域実習報告会に出席し、地域医療教育について協議している。
岡山大学	初期臨床研修段階までの卒業生しかいないため現時点では不確定であるが、在学生の地域医療体験実習等の指導的役割を担っていただければ、十二分にフィードバックはなされ则认为。
広島大学	卒業前の地域医療実習では、医学科生全員中山間地域で1週間の実習を行い、医師偏在問題とその対応についてディスカッションしている。
山口大学	卒業後の勤務状況について情報提供しているが、分析はできていない。
高知大学	地域枠入学者が地域医療機関で行う実習において、実習先に勤務する卒業生が講演等を行っている。
【公立】	
奈良県立医科大学	カリキュラムへ反映させるようにしている
【私立】	
順天堂大学	地域特別枠入学者（研修医等）による報告会を行うことで、地域特別枠入学者（在学生）への特別カリキュラムに反映させたり、地域医療へのモチベーションアップに繋がっている。
聖マリアンナ医科大学	地域特別枠入学者の経験を、次の地域特別入学者や地域医療に興味がある学生へ伝え、地域医療に貢献できる人材の養成に努める。
関西医科大学	医学概論特論の受講とレポート提出の義務付け、またチューター制度を導入し学生を支援している